



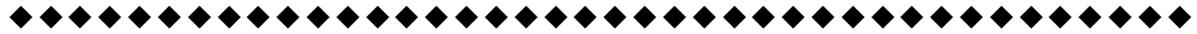
令和元年度 ふるさと教育推進事業

浜田市内小学校・中学校

特色あるふるさと教育事例集

小学校 16 校

中学校 9 校



特色あるふるさと教育事例（小学校）

頁	学校	学年	教科等	単元名	ふるさと教育の視点
1	原井小	4年	総合	浜田の海と共に生きる	地域の自然（海）に親しむ
2	雲雀丘小	3・4年	総合	みんなが幸せに暮らせる社会を目指して	地域に貢献しようとする意欲の喚起
3	松原小	5年	総合	ぼくたち、北前探検隊！	江戸時代の北前船について調べ、郷土への愛と誇りを深める。
4	石見小	2年	生活	やきいもをしよう	収穫の喜びを味わうとともに、地域の方とのふれあいを通して地域への親しみをもつことができる。
5	美川小	6年	社会	浜田の歴史を探ろう	幕末の浜田藩や美川地域で起こった出来事について、現地で地域の人と関わり合いながら学び、地域への愛着と地域の発展を願う気持ちをもつ。
6	周布小	6年	総合	戦争と平和について考えよう	地域の人と交流しよう
7	長浜小	2年	生活	もっとなかよし まちたんけん 柿田神楽面工房・植田蛇胴製作所へ行こう！	地域の人との関わりを通して、石見神楽やそれらに携わる人々に親しみや愛着がもてるようにする。
8	国府小	6年	総合	卒業プロジェクト 「ありがとうの会」	卒業を前に6年間の「ふるさと教育」を振り返り、今までお世話になった地域の方々に学んだことや感謝の気持ちを伝える。
9	三階小	5年	総合	THE 防災	・自然が起こす現象を知り、自分たちが住んでいる地域について知る。 ・災害から自分たちの身を守るためにできることを考え、実際の生活に活用できる力をつける。
10	雲城小	5年	総合	小国田んぼの米づくり	ふるさと金城のよさや、そこに住む人たちの想いにふれることで、自分たちに何ができるかを考える。
11	今福小	全校	生活 総合	もち米づくり	田植えからもちつき会までの活動を通して、季節の移り変わりを感じたり、地域の自然や人に親しみをもち、そのよさに気づいたり、進んで関わろうとしたりする。
12	波佐小	5・6年	総合	「つなぐ」～もの・人・想い～	ふるさと波佐地域の中で、昔から行われている「ほたるまつり」と「波佐文化祭」の歴史を調べることで、地域に対する愛着と誇りをもつことができる。
13	旭小	6年	総合	旭の未来を考えよう	小学校6年間で学習したふるさとの良さを、地域の人々のつながりに視点をあてることを通して改めて見直し、ふるさと旭町に誇りをもつ児童を育てる。
14	弥栄小	5・6年	総合	発信しよう ～神楽で地域を盛り上げよう～	石見地方に古くから伝わる石見神楽の特徴や演目などを体験的に学ぶことを通して、ふるさとの歴史と文化を理解しふるさとを愛し、文化伝承者としての誇りをもつ。
15	三隅小	2年	生活	どきどきわくわくまちたんけん ・もっとなかよしまちたんけん	ふるさとへの愛着と誇りをもつ
16	岡見小	5・6年	総合	岡見の素晴らしさを海から見つめよう！	ふるさとへの愛着・誇りの醸成

※ 総合：総合的な学習の時間

特色あるふるさと教育事例（中学校）

頁	学校	学年	教科等	単元名	ふるさと教育の視点
17	第一中	2年	総合	赤ちゃんふれあい体験	乳幼児とのふれあいの体験や、地域の人と関わることで、生徒の豊かな成長につなげていく。
18	第二中	3年	総合	職場体験学習	地域の事業所で3日間の職場体験学習をし、ふるさとの職業を実際に学ぶとともに、コミュニケーション力や地域社会の一員としてのマナーを身に付けた生徒を育成する。
19	第三中	2年	総合	企業説明会 (ジョブカフェ in さんちゅう)	本校のキャリア教育の一環として地元企業や職業についての理解を深め、ふるさとで働くことの意義や良さを知る。
20	第四中	全校	総合	稲作活動（田植え、稲刈り、しめ縄づくり、餅つき）	ふるさとの基幹産業である稲作を自分たちで体験することにより、農業について関心を持たせ、主体的、創造的、協働的に物事に取り組む生徒を育てる。
21	浜田東中	3年	総合	進路講演会 接遇講座	地域の人とかかわりながら、地域にある素材を活用した学習活動を行うことを通して、豊かな人間性や社会性、表現力やひととかかわる力を育む。
22	金城中	全学年	総合	ふるさと学習 ハッチョウトンボを守ろう！	・地域の「ひと・もの・こと」の活用 ・ふるさとへの愛着や誇りの醸成
23	旭中	2年	総合	修学旅行を通してふるさと 旭の良さと課題を見つけよう	自分たちの住んでいる地域と都会とを比較することで、地域の魅力や、課題に対する対策についての考え方を深める
24	弥栄中	1年	総合	弥栄の未来を考える	・地域との交流を通して、故郷に愛着をもち、すすんで地域社会に貢献しようとする態度を育てる。 ・地域社会の実態を知り、自分の考えを持ち発信する力を育てる。
25	三隅中	全学年	美術	スケッチ大会	描くことを通して、ふるさとの自然の美しさに触れ、ふるさとのよさに感動する心を培う。

※ 総合：総合的な学習の時間

特色あるふるさと教育事例 1

学校名	浜田市立原井小学校		
学年	教科等	単元名	ふるさと教育の視点
4	総合的な学習の時間	「浜田の海と共に生きる」	地域の自然（海）に親しむ

1 取組の概要

本学習では、「浜田の人と浜田の海にすむ生き物の生命の安全を守りたい」という目標を掲げて、学習活動を計画した。

1学期は、「浜田の海で安全に遊んでほしい」という思いのもと、浜田の海に生息する海の生き物について調べ、ポスターにまとめた。調べる際に、アクアスの職員の方に学校へ来てもらい、図鑑で調べて分からなかった疑問に答えてもらったり、探究活動を深めるためのアドバイスをもらったりした。

2, 3学期は、「浜田の人と浜田の海にすむ生き物の生命の安全を守りたい」という思いのもと、浜田の海のごみ問題について紹介したいと考えた。そこで、アクアスの職員さんをはじめとするNPO法人「いわみっこ」の方に協力していただきながら、専門的な知見から児童の探究活動を支えて、海的环境についての理解が深まった。また、浜田の海の魅力を知りたい、浜田の環境問題についてもっと知りたいという気持ちも高まった。そこで、「浜田の海の魅力を浜田の海へ行く人に知ってもらい、きれいな海を保ってほしい」と考え、「浜田の海で生活する会」の方にも協力してもらいながら、校区内で採れた海水や“かじめ”を使って藻塩づくりを体験したり、浜田の海のレジャーであるカヌー体験を行ったりして、浜田の海の魅力に触れた。そこででの探究活動をもとに、地域の人たちに知ってもらうためのプレゼンテーションを作り、表現した。



2 ふるさと教育の視点を持った授業（活動）にせまるための授業づくりのポイント（工夫）

「浜田の海」という大きなテーマから、子どもたちが連想するものをウェビングマップに表し、そこから児童が自分たちで話し合っって課題を設定していった。そして、自分たちで考えた課題をもとに、「浜田の人と浜田の海にすむ生き物の生命の安全を守りたい」という目標を掲げた。

3 児童・生徒に見られた変容

初めは、海は海水浴や釣り等のレジャーの場としてとらえていた児童も、学習を進めるうちに生物の宝庫としての見方ができたり、環境問題とも関連付けて考えたりするようになった。また、多くの大人の人にかかわっていただいたことでコミュニケーションを自分からとろうとする姿が見られた。そして、自分たちの海を何とかして守ろうとする意識も高まった。

記載責任者	園山 慧
-------	------

特色あるふるさと教育事例 2

学校名	浜田市立雲雀丘小学校		
学年	教科等	単元名	ふるさと教育の視点
3・4	総合的な学習の時間	みんなが幸せに暮らせる社会を目指して	地域に貢献しようとする意欲の喚起
<p>①取組の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイマスク体験や手話の学習などの活動を通して、福祉についての学びを深める。 ・福祉についての学びを通して、自分たちにできることは何かを考え、実践していこうとする意欲を高める。 <p>②ふるさと教育の視点を持った授業（活動）にせまるための授業づくりのポイント（工夫）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉についての学習や、実際に携わっておられる方の話を聞くなどの活動を通して、福祉に対する課題意識をもつことができるようにした。 ・手話や点字など、実際に学んで使ってみることを通して、自分たちにもできることがあるのだということに気付けるようにした。 ・具体的に自分たちにできることを考えていくことを通して、身近な人や地域に貢献していこうという意欲をもてるようにした。 <p>③児童・生徒に見られた変容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・缶飲料に付けられている点字や道路に敷設されている点字ブロックなど、身近なところに目の不自由な方への配慮がなされていることに気づき、福祉の精神が地域にも根付いていることを学ぶことができた。 ・目や耳が不自由な状況を体験することを通して、不安な気持ちやその不自由さに気が付き、進んで手助けのために声掛けをしたいという思いをもつようになった。 ・自分にも何かできないかと考える心情が育ち、福祉の分野にとどまらず、地域のために役立ちたいという思いが感じられるようになった。 			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			
記載責任者	野津 道人		

特色あるふるさと教育事例 3

学校名	浜田市立松原小学校		
学年	教科等	単元名	ふるさと教育の視点
5	総合的な学習	ぼくたち、北前探検隊！	江戸時代の北前船について調べ、郷土への愛と誇りを深める。
<p>① 取組の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北前船について地域の方に話を聞いたりフィールドワークをしたりした。 ・それをもとに学んだことや気づいたこと、思ったことを「北前船リーフレット」としてまとめた。 ・学習発表会で北前船を題材とした劇を行い、北前船について学んだことや自分たちの考えたことを校内や地域の人々に発信した。 <p>② ふるさと教育の視点を持った授業（活動）にせまるための授業づくりのポイント（工夫）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方に北前船について話をしてもらったり、フィールドワークをしていただいたりした。 ・当時の人々の思いや航海の苦勞を感じるために、実際に船で海に出て体験をした。 <p>③ 児童・生徒に見られた変容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元の海や地域の歴史に興味・関心が高まった。 ・当時の貿易港と現代の貿易港とを比較することで、現代の貿易の理解をよりふかめることができた。 ・北前船が行く日本のほかの港の学習もしたので、日本のほかの地域への興味関心が高まった。 ・石見焼の陶芸をした時も、その背景に思いをはせることができた。 			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			
記載責任者	畑 祐介		

特色あるふるさと教育事例 4

学校名	浜田市立石見小学校		
学年	教科等	単元名	ふるさと教育の視点
2	生活	やきいもをしよう	○収穫の喜びを味わうとともに、地域の方とのふれあいを通して地域への親しみをもつことができる。
<p>1 取組の概要</p> <p>○地域ボランティアの方と一緒にやきいも作りをする。</p> <p>○1年生のときに体験したむかしあそび（こま、はねつき、カルタ等）で、地域ボランティアの方と交流する。</p> <p>②ふるさと教育の視点を持った授業（活動）にせまるための授業づくりのポイント（工夫）</p> <p>○やきいも作りだけでなく、地域の方とより深く交流できるように「むかしあそび」での交流を計画した。</p> <p>2 児童・生徒に見られた変容</p> <p>○1年生の時から継続して本校の活動に参加されている方や、地域の見守り活動をしておられる方もいらっしやって、子どもたちは地域の方とふれあうことの喜びを感じていた。</p> <p>～児童の変容の様子が見られる資料として、学級通信の一部を掲載～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアさんはとてもやさしくて、わたしが知っている人もいました。いつも学校に行くときにとちゅうまでついてきてくださいます。 ・むかしあそびをひさしぶりにやって楽しかったです。ボランティアさんのよこでいっしょにできてうれしかったです。 ・いそがしい中、ボランティアさんがきてくださって「ありがたい」と思いました。 			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			
記載責任者	中川 稔子		

特色あるふるさと教育事例 5

学校名	浜田市立美川小学校		
学年	教科等	単元名	ふるさと教育の視点
6	社会科	浜田の歴史を探ろう	・幕末の浜田藩や美川地域で起こった出来事について、現地で地域の人と関わり合いながら学び、地域への愛着と地域の発展を願う気持ちをもつ。
<p>1 取組の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幕末の浜田藩や美川地域の出来事について、現地で地域の方の話を聞く。 (浜田城跡及び浜田城資料館, 周布聖徳寺, 吉地旧大谷家, 牛谷山下家) ・公民館と連携し、地域の方々と共に学ぶ機会とする。 <p>2 ふるさと教育の視点を持った授業(活動)にせまるための授業づくりのポイント(工夫)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の興味関心を引き付ける素材を取り上げる。 ・難解な語句は指導者が補足説明を加えるとともに、教科書で学んだこととどう結びついているかを考えさせるようにする。 ・感想用紙にまとめたり、発表したりする。 <p>3 児童・生徒に見られた変容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の「ひと・もの・こと」と関わる体験活動を通して、ふるさとのよさを感じ取り、ふるさとへの愛着を育むことができた。 ・講師さんの話を聞くことで、地域の歴史を語り伝える活動に携わっている方々の思いに触れることができた。 			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			
記載責任者	堀内 一		

特色あるふるさと教育事例 6

学校名	浜田市立周布小学校		
学年	教科等	単元名	ふるさと教育の視点
6	総合的な学習	戦争と平和について考えよう	地域の人と交流しよう
<p>①取組の概要</p> <p>4月から「戦争と平和について考えよう」をテーマとして調べ活動を進めた。実際に被爆された地域の方のお話を聞き、原子爆弾の被害や戦争と平和についての理解を深めた。</p> <p>②ふるさと教育の視点をもった授業（活動）にせまるための授業づくりのポイント（工夫）</p> <p>地域の人を通して、臨場感あふれる体験談を聞くことで、原子爆弾の被害や戦争と平和について、主体的に学んだり、表現したりする力を育む。</p> <p>③児童・生徒に見られた変容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に被爆された方の五感を通した臨場感あふれるお話を聞くことで、状況を想像しながら聞くことができた。その結果、原子爆弾の被害や戦争と平和について調べたいテーマを自ら見つけ、意欲的に調べたり、課題についてのまとめを発表したりすることができた。 ・用意されたたくさんの資料には、児童が知りたかった内容がたくさん詰まっており、じっくりと見たり読んだりすることができた。原子爆弾の被害や戦争のおそろしさについて理解を深めることができた。 ・地域の方が、持参された千羽鶴を子ども達に託してくださり、自分たちが折った千羽鶴と共に修学旅行に持って行くことができた。被爆された方の思いを広島までもっていくことができた。 			
記載責任者		廣江 翔平	



特色あるふるさと教育事例 7

学校名	浜田市立長浜小学校		
学年	教科等	単元名	ふるさと教育の視点
2	生活科	もつとなかよし まちたんけん 【「柿田神楽面工房」 植田蛇胴製作所へ行こう！】	地域の人との関わりを通して、石見神楽やそれらに携わる人々に親しみや愛着がもてるようにする。
<p>1 取組の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神楽面や邪胴の作り方や、そこで働いておられる人々について知りたいこと、聞いてみたいことを考える。 ・柿田神楽面工房、植田蛇胴製作所に見学に行く。 (神楽面や蛇胴の作り方を教えてもらったり、実際に体験させてもらったりした。) ・感想や気付いたことをまとめ、学年で発表会を開いた。 ・国語「名人をしょうかいしよう」の学習につなげ、紹介文を書き、家族と他学年（4年生）に発表し、感想を書いてもらった。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 250px;"> <p>【柿田神楽面工房】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柿田勝郎さんにインタビュー ・面作り体験「粘土をうしろから叩いて割るんだよ。」 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 250px;"> <p>【植田蛇胴製作所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に、蛇胴をさわらせてもらう。 ・「竹を削って輪っかにして、胴体にするよ。」 </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <p>2 ふるさと教育の視点を持った授業（活動）にせまるための授業づくりのポイント（工夫）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の感想や、お世話になった方へ感謝の思いを手紙に書いて送った。 ・国語「名人をしょうかいしよう」の学習と関連づける際には、長浜小学校区に住んでおられる名人への、自分の思いが表せるように指導した。 (自分たちが住む地域には、こんなにすごい人がおられる、という喜びや、神楽を支え続けておられる方々への尊敬の念 など) <p>3 児童・生徒に見られた変容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで名人のもとを訪ねたり、家族と神楽の話をしたりするなど、地域の「人」「もの」に関心をもつことができた。 ・神楽遊びをしたり、神楽面や弓矢などを作ったりするなど、神楽を身近に感じる児童が増えた。 ・道徳「わたしの学校、いい学校」（郷土愛）の学習をした際、「自分達の地域にはすごい人がいる！」と、生き生きと発表する児童の姿が見られた。 			
記載責任者	田村 美佳		

特色あるふるさと教育事例 8

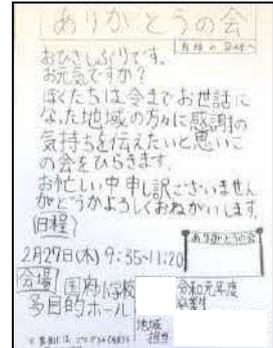
学校名	浜田市立国府小学校		
学年	教科等	单元名	ふるさと教育の視点
6	総合	卒業プロジェクト 「ありがとうの会」	卒業を前に6年間の「ふるさと教育」を振り返り、今までお世話になった地域の方々に学んだことや感謝の気持ちを伝える。

① 取組の概要

本取組は、6年生が2学期末より総合的な学習の時間に取り組んできた卒業プロジェクトの活動の1つである。プロジェクトのねらいは大きく以下の2点である。

- (1) 小学校6年間の学びを振り返り、中学校生活に対する前向きな気持ちをもつこと。
- (2) お世話になった家族や地域の方々、先生や校舎への感謝を様々な形で表現すること。

本取組は主として(2)に視点を置き、6年間の「ふるさと教育」を振り返り、今までお世話になった地域の方々に学校にお招きして学んだことや感謝の気持ちを伝える場として行った活動である。



<会の案内状>

② ふるさと教育の視点を持った授業(活動)にせまるための授業づくりのポイント(工夫)

- (1) 「地域係」児童を中心に、6年生全体で「ありがとうの会」にお招きしたいの方々について話し合う時間を設けることで、一人一人が自分事として捉えられるようにしたこと。
※この時、国府公民館主事さん提供の、地域の方が学習支援に関わってくださった活動の一覧表を活用した。
- (2) 児童に会の目的を意識させ、当日行うゲームや出し物の題材を地域の方々にお世話になって行うことができた活動に関連づけることで、楽しい雰囲気の中でこれまでの学びの報告ができるようにしたこと。
- (3) 「スライドショー係」児童が中心となって作成した思い出スライドショーを会当日に上映すると共に、その後に児童が地域の方と当時をふりかえって語る場を設定することで、地域の方々の支援によって6年間の様々な学習を行うことができたことを児童が再認識し、地域の方々に対して改めて感謝の気持ちをもてるようにしたこと。

③ 児童・生徒に見られた変容

事後の振り返りでは、以下のような児童の言葉が多く見られた。

- 地域の方はいろいろなことを知っておられることが分かった。
- 自分たちがお世話になった地域の方に感謝の気持ちを伝えることができてうれしかった。
- 地域の方に「中学校でもがんばってね」と言われて、「もっとがんばろう」という気持ちになった。

このように児童はこの会の目的を達成し、地域の方々に対する感謝の気持ちをもつことができたと共に中学校生活への前向きな気持ちをもつことができた。



記載責任者 向原 将平

特色あるふるさと教育事例 9

学校名	浜田市立三階小学校		
学年	教科等	単元名	ふるさと教育の視点
5	総合	THE 防災	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が起こす現象を知り、自分たちが住んでいる地域について知る。 ・災害から自分たちの身を守るためにできることを考え、実際の生活に活用できる力をつける。
<p>①取組の概要</p> <p><三階小校区（相生地区）で></p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和58年，昭和63年の水害の被害の様子や，現在の水害に対する対策を見て，知る。 ・地域にある土砂災害危険区域や避難所となる場所を確認し，災害の起きた場所や状況に応じた避難の仕方を考える。 <p><学校で></p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災士の方を招き，水害の歴史について知ったり，災害図上訓練（DIG）で，地域の土砂災害危険区域や避難所場所を調べたりする。 ・調べたことをもとに「水害の歴史」・「災害時避難の方法」・「災害への対策」チームに分かれポスター作りをしたり，発表会をしたりする。 <p>②ふるさと教育の視点を持った授業（活動）にせまるための授業づくりのポイント（工夫）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童にとって身近な三階小校区を教材として扱った。 ・三階地域街づくりネットワークや地域の防災部会，防災士の方々と事前に綿密に打ち合わせを行いながら単元構成を考えた。 ・防災士の方をはじめ，地域の人々や児童の保護者等，たくさんの方が防災学習に携わった。 <p>③児童・生徒に見られた変容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで浜田の街が水害で被害を受けたという事実を知らなかった児童が多かったが，学習を通して，災害の恐ろしさを知り，災害からふるさとを守るための方法を考えることができた。 ・「災害に応じて，避難方法を考えないといけない」，「日頃から，すぐに避難できるように家族と話し合いたい」という思いをもつようになった。 			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			
記載責任者	田中 貴己		

特色あるふるさと教育事例 10

学校名	浜田市立雲城小学校		
学年	教科等	単元名	ふるさと教育の視点
5	総合的な学習の時間	小国田んぼの米づくり	ふるさと金城のよさや、そこに住む人たちの想いにふれることで、自分たちに何ができるかを考える。
<p>1 取組の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 金城町小国地域はおいしいお米が収穫できる地域として知られている。また、学校の統合により旧小国小学校区の児童は雲城小学校に通学している。学校がなくなった地域の方々が、子どもたちとの活動を楽しみにしておられること、小国で田植えや稲刈りなどの体験を地域の方々と一緒にすることで、地域の方々の思いを知ったりできること、小国のお米がおいしい秘密をさぐったりすることで、ふるさとのよさを実感できると考えている。また、ふるさとの宝として、小国のお米の良さを広くPRする活動を通して、地域貢献の意識を高めることにつながる考え本活動を実施した。子ども達にもその思いを伝え、金城町の自然の豊かさや人々の心の温かさ、子ども達に何ができるかを学んでいく学習を年間通して実施している。 <p>2 ふるさと教育の視点を持った授業（活動）にせまるための授業づくりのポイント（工夫）</p> <ul style="list-style-type: none"> 小国のお米を大切に育てておられる地域の方々と一緒に米作りの体験をすることを通して、地域の方々の思いや願いに触れながらふるさとの宝を再認識できるようにした。 自分たちが学んだふるさとのすばらしさを、地域のイベント（さざんか祭）の中で紹介する場を設定した。 収穫したお米は、食生活改善推進員さんとの郷土料理作りに使用したり、他の学年の食の学習にも活用したりして、地元の食材を使った料理として全校児童にもその価値を伝えた。 小国の方と一緒に作ったお米をテーマに学習した内容をまとめて学習発表会の場で発表をした。 お世話になった地域の方を招待しての「感謝祭」で、お米を使った郷土料理と一緒にいただくことで感謝の気持ちを表す場を設定した。 <p>3 児童・生徒に見られた変容</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の自慢としてお米を大切に育てておられる地域の方々の思いを感じ、ふるさとのよさとして自分の言葉でPRすることができた。 積極的に地域の活動に参加し、思いを伝えようと活動できた。 小国地域でとれたお米のよさや、お世話になった地域の方に対する感謝の気持ちを学習発表会の中で伝えることができた。 			
			
記載責任者	川神 幸		

特色あるふるさと教育事例 11

<p>学校名</p>	<p>浜田市立今福小学校</p>		
<p>学年</p>	<p>教科等</p>	<p>単元名</p>	<p>ふるさと教育の視点</p>
<p>全校</p>	<p>生活 総合</p>	<p>もち米づくり</p>	<p>田植えからもちつき会までの活動を通して、季節の移り変わりを感じたり、地域の自然や人に親しみを持ち、そのよさに気づいたり、進んで関わろうとしたりする。</p>
<p>① 取組の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○もち米づくりの作業（田植え・稲刈り・脱穀）を行う。 ○稲の生長を観察する。 ○もちつきをして会食を行う。 ○地域の方と一緒にもち米づくりの活動を行う中で、作業の仕方や道具の使い方などを教えてもらっている。 ○収穫と卒業を祝い、地域の方と一緒にもちつきをして会食をする中で、これまでお世話になった地域の方との親睦を深め、感謝の気持ちを伝えている。（今年度は中止） <p>② ふるさと教育の視点を持った授業（活動）にせまるための授業づくりのポイント（工夫）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公民館と地域講師と事前に綿密な打ち合わせを行い、この活動で子どもたちに身につけさせたい力やめざす子ども像について共有することに努めている。 ○活動は、6年生のリーダーを中心に、縦割り班で行っている。 ○活動を振り返る際に、みんなの前で自分の思いや感じたことを伝え合う時間を設けている。 ○活動が終わると、お礼の手紙を書いて、3つの公民館に届けている。手紙には、気づいたこと、考えたこと、教えていただいたことなど、子どもの素直な気持ちが表れている。 <p>③ 児童・生徒に見られた変容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域の方が取り組んでおられる米づくりやそれにまつわる行事について興味をもち、各自課題をもって調べ活動（体験も含む）を行った。 ○もち米をつくり、収穫を祝う会までの活動を通して、また、調べた情報を整理し共有する活動を通して、稲の生長や季節の変化、自然のすばらしさなど、どの学年もそれぞれに新たな気づきがあった。 ○地域の方と一緒に活動を行う中で、活動する楽しさを実感することができ、改めて人とかかわり合うことのよさや大切さに気づく機会にもなった。 			
<p>記載責任者</p>	<p>賀戸 幸久</p>		



特色あるふるさと教育事例 12

学校名	浜田市立波佐小学校		
学年	教科等	単元名	ふるさと教育の視点
5. 6	総合的な学習の時間	「つなぐ」～もの・人・想い～	ふるさと波佐地域の中で、昔から行われている「ほたるまつり」と「波佐文化祭」の歴史を調べることにより、地域に対する愛着と誇りをもつことができる。

1 取組の概要

今年度は、波佐地域に視点をしぼり昔から行われている「ほたるまつり」と「波佐文化祭」の歴史を調べた。どちらの行事も波佐地域の一大イベントになっており、たくさんのお客様でにぎわう。何気なく参加している行事でも、思いを知ることによりかけがえのない行事としてとらえることができた。その思いを学習発表では、劇風にして発表することができた。

2 ふるさと教育の視点を持った授業名（活動）にせまるための授業づくりのポイント（工夫）

公民館と連携を図り、波佐の特産物を加工しているお店の見学を行った。「つなぐ」をキーワードに考えながら見学をし、子どもたちの声でまとめることができた。そのまとめたことを元に、劇にして発表することができた。



3 児童・生徒に見られた変容

1人ひとりが、どんなつながりがあるのかを考えながら調べ学習を進めることができた。学習発表会では、自分の現在と未来に想いをもちながら、「自分の夢を語る学習発表会」となった。また、地域への誇りをもつことができた。

この発表会後にたくさんの地域の方から「波佐を盛り上げていくことが大切だ。どちらの良さも発表してくれて嬉しい。」という感想をいただいたことで、子どもたちの自信につながった。

積み上げた力で「想い」をつなげた学習発表会

◇台本を配ってから1週間、予行練習の当日には、台本を大きく削って発表するという離れ業にも対応した子どもたち。当日は、「波佐のもの・人・想い」の素晴らしさを伝えるために、楽しんで演技をしているように感じました。6名が頼もしく見えました。日記にも、子どもたちの成功の喜び、成長が記されていて、うれしく思いました。

学習発表会 11月18日
 波佐を味方に 11月18日
 最後で最後 11月18日

種子運ね
 つなぐVV

◇1週間での発表は、決して簡単ではありません。それを可能にしたのは、3学級が、「何のために（目的）」「そのために（目標）」「次は？（振り返り）」などを考え、一所懸命挑戦続けたこと、ふだんの授業から声や表現などの力をつけてきたことが関係していると思います。
 3学級がこれまで積み上げてきた学習の成果が、表現された発表だったと思います。

記載責任者	川神 和子
-------	-------

特色あるふるさと教育事例 13

学校名	浜田市立旭小学校		
学年	教科等	単元名	ふるさと教育の視点
6	総合的な学習の時間	旭の未来を考えよう	小学校6年間で学習したふるさとの良さを、地域の人々のつながりに視点をあてることを通して改めて見直し、ふるさと旭町に誇りをもつ児童を育てる。

1 取組の概要

- 平和学習と関連し、地域の方の戦争体験を聞くことで、過去を通して現在のふるさとについて考えた。
- 興味・関心に基づいたグループを編成し、旭町の現状や他地域の取り組みを調べることを通して、未来の旭町についての提案をまとめた
- 5年生や町内各公民館職員、市職員、学校評議員、民生児童委員、保護者に提案発表を聞いていただいた。



2 ふるさと教育の視点を持った授業（活動）にせまるための授業づくりのポイント（工夫）

- 過去と現在を区分して学習することで、現在の課題を考えたり、未来のふるさを想像したりしやすくした。
- 地域のことと他地域のことを関連して調べることで、未来のふるさとについて、より深く考えられるようにした。

3 児童・生徒に見られた変容

- ふるさとの未来について考えるときに、もっと旭町のことについて知りたいと思って積極的に調べる様子が見られた。
- 地域の方の思いを聞くことで、旭町の未来について本気で考える姿が見られた。

記載責任者	松原 裕
-------	------

特色あるふるさと教育事例 14

学校名	浜田市立弥栄小学校		
学年	教科等	単元名	ふるさと教育の視点
5・6	総合的な学習の時間	発信しよう ～神楽で地域を盛り上げよう～	石見地方に古くから伝わる石見神楽の特徴や演目などを体験的に学ぶことを通して、ふるさとの歴史と文化を理解しふるさとを愛し、文化伝承者としての誇りをもつ。
<p>①取組の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域に伝わる石見神楽の由来や直接関わっておられる方々の思いを知る。 ○神楽社中の方から神楽の所作や舞い方を教わり、神楽が舞えるようにする。 ○地域の文化祭や学習発表会などの場で神楽を発表する。 ○まとめの会において、実践を通して学んだことを報告しあう。 ○神楽社中の方から石見神楽について話をしてもらったり、舞い方を教わったりしている。 ○学習発表会や「やさか産業まつり」での神楽発表を地域の方々に見ていただいている。 <p>②ふるさと教育の視点を持った授業（活動）にせまるための授業づくりのポイント（工夫）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○神楽を舞うにあたって、神楽学習を通してどのように成長したいのか、また神楽を披露した後に、成長したことについて地域講師に語る時間を設定した。その中で、地域の伝統を継承している事への気づきや意識の高まりを促すことができた。 <p>③児童・生徒に見られた変容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域の伝統文化である神楽について調べ、地域の方に指導して頂きながら演目を完成させる過程を通して、石見神楽の魅力を存分に味わうことができた。 ○演目を仕上げ、多くの聴衆の前で神楽を披露することを通して、仲間と協力して一つのものを作り上げる喜びをお互いに味わい、力を合わせることの大切さを学ぶことができた。 ○地域講師から学ぶことは貴重な体験である。地域講師の神楽に対する真摯な姿勢や熱心な指導により、礼儀や相手の思いをくみ取りながら人と関わっていくこと、ふるさとを愛する心などを育むことができた。 			
			
記載責任者	齋藤 由美子		

特色あるふるさと教育事例 15

学校名	浜田市立三隅小学校		
学年	教科等	単元名	ふるさと教育の視点
2	生活科	どきどきわくわくまちたんけん もつとなかよしまちたんけん	ふるさとへの愛着と誇りをもつ
<p>①取組の概要</p> <p>1学期の『どきどきわくわくまちたんけん』で、三隅地区・向野田地区のまちたんけんを行った。4～5人ずつの6グループに分かれ、それぞれの地区にある自然や建物について調べて回った。各グループには地域ボランティア・保護者の方についていただき、活動した。</p> <p>2学期の『もつとなかよしまちたんけん』では、1学期の活動をもとに、もっと詳しく知りたい場所を考え、6つの場所（光明堂、Aコープ、みうら理容、三隅公民館、子育て支援センターおひさま、三隅保育所）のたんけんを進めていった。2度にわたって計画し、1回目はインタビューや説明を聞く活動を、2回目は実際に仕事のお手伝いや体験活動を行わせていただいた。</p> <p>分かったことや感じたことは、たんけん場所ごとにポスターセッション方式で発表し、児童相互に聞き合った。</p> <p>②ふるさと教育の視点を持った授業（活動）にせまるための授業づくりのポイント（工夫）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティアの活用。 →特に、1学期のまちたんけんでは、地域の方だからこそ知っておられることを伝えてもらうことができた。 ・地域への思いが強い方と児童を出会わせる。 ・少人数グループを編制することで、主体的に活動に取り組もうとする児童の姿を引き出す。 <p>③児童・生徒に見られた変容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のよさに気付くことができた。 ・地域の方とのかかわりが深まり、学校外で声をかけてもらえるようになった。 ・地域の行事に興味をもち、参加するようになった。 ・体験活動をした場所に再度訪れたり、友だちの発表で聞いた場所に行ってみたりしていた。取組前は「行ったことがない」と話していた場所にも興味をもつきっかけとなったり、地域への愛着を深めたりすることができた。 			
記載責任者	佐堂 智子		



特色あるふるさと教育事例 16

学校名	浜田市立岡見小学校		
学年	教科等	単元名	ふるさと教育の視点
5・6	総合的な学習の時間	岡見の素晴らしさを海から見つめよう！	ふるさとへの愛着・誇りの醸成
<p>1 取組の概要</p> <p>岡見を海から見つめたり、地域の方に岡見の自然について話を聞いたりすることで、ふるさと岡見の素晴らしさに気づき、ふるさとを誇りに思う心を育てる。</p> <p>○事前（1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡見の自然について ・乗船の仕方・安全上の留意点の確認等 <p>○当日（2）</p> <p>出発→ 須津港着→ 乗船 → 須津港発 → 帰校</p> <p>10:30 10:50 11:00～11:40 11:50 12:10</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗船前に船頭会の方から乗船上の留意点を聞く ・乗船中は、地域の方から岡見の海に島や瀬について、また海上から見えるもの（鉄橋、火力発電所、景観等）の案内をいただくと ・感想発表 <p>○事後（1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動のふり返り <p>2 ふるさと教育の視点を持った授業（活動）にせまるための授業づくりのポイント（工夫）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで乗船し、それぞれの船に地域講師についていただくようにしたこと。講師には海のことや岡見について語っていただくようにした。 ・船（海上）でないと見えない（経験できない）ものを担当者と地域の方とで検討したこと <p>3 児童・生徒に見られた変容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡見に住んでいながら海から自分たちの住む地域を見る経験がなかった。また、乗船経験のない児童もいた。それだけに岡見についての新たな発見や自然についての気づきが多くあった。 ・普段経験できないことを地域の方の努力で実現していただいた。お世話になった方に対する感謝の気持ちをもつことができた。 ・地元岡見の海に伝わる伝説や逸話などを聞き、ふるさとの昔について考え、地名の由来などについても知ることができた。 			
			
 			
記載責任者	河本 誠二		

学校名	浜田市立第一中学校		
学年	教科等	単元名	ふるさと教育の視点
2	総合的な学習の時間	赤ちゃんふれあい体験	乳幼児とのふれあいの体験や、地域の人と関わることで、生徒の豊かな成長につなげていく。
<p>①取組の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に昨年度の様子や体験方法などを、校区の公民館のコーディネーターからオリエンテーションを受ける。 ・各学級を5班編成にし、一日1クラスずつ体験を実施する。 ・各班30分ずつ2組の地域の親子とふれあう。 ・ふれあいの中で、出産時のことや赤ちゃんの成長過程の話を聞いたり、実際に絵本を読んだりおもちゃで遊んだりする。 ・体験後すぐに感想を書き、お母さん方に読んでいただく。 ・数ヶ月後お母さん方から、乳幼児の写真付き手紙がコーディネーターを通して学校に届く。 <p>②ふるさと教育の視点を持った授業（活動）に迫るための授業づくりのポイント（工夫）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も地域の方と接点を持てるように、誰もが乳幼児と触れ合えるようにする。また、母親の話もしっかり聞けるようにする。 ・将来、地元で親になるイメージをもたせるために、乳幼児をだっこしたり、おもちゃで遊んだりすることで、乳幼児のかわいらしさを実感させる。 ・親子関係を考えるきっかけにするために、自分の乳幼児の時期を想起させる。 ・地域の託児ボランティア等に参加しやすくするために、乳幼児と関わる大変さや楽しさを実感させ、責任を果たすことの達成感を味わわせる。 <div data-bbox="898 965 1401 1339" data-label="Image"> </div> <p>③生徒に見られた変容</p> <p>コーディネーターのオリエンテーションを受けているときは乳幼児を見た目のかわいらしさしか感じていなかった生徒が多かったように感じた。それは非常に幼い感覚で、乳児を玩具としての価値でしか見ていないような感覚と言ってもよい。ところが、実際に乳児を目の前にすると、「かわいい」という感想はもっているが、実際にどのように抱きかかえて良いのか、言葉がけをしたら良いのか分からず、眺めているだけであったり、頭をなでる程度のことしかできなかったりした生徒もいた。</p> <div data-bbox="220 1637 635 1951" data-label="Image"> </div> <p>その後、お互いに自己紹介をして、打ち解けあう中でお母さん方の出産のことや子育ての喜びについてなどの話を聞き、命の尊さや親子の絆などを実感し、乳児をただの玩具としてではなく、尊厳のある一人の人間として触れることができたように感じた。</p> <p>1時間と少しという短い時間の活動であったが、肌と肌の触れ合いはふるさと教育の意義や学習のねらいに迫る貴重な体験活動になったと感じている。</p>			
記載責任者	古和一省		

特色あるふるさと教育事例 18

学校名	浜田市立第二中学校		
学年	教科等	単元名	ふるさと教育の視点
3	総合	職場体験学習	地域の事業所で3日間の職場体験学習をし、ふるさとの職業を実際に学ぶとともに、コミュニケーション力や地域社会の一員としてのマナーを身に付けた生徒を育成する
<p>① 取組の概要</p> <p>地域の職場に出かけていき、社会人としての心得やマナーを学ぶ。</p> <p>② ふるさと教育の視点を持った授業（活動）にせまるための授業づくりのポイント（工夫）</p> <p>37事業所に受け入れをお願いし、なるべく一職場に一人を目標に3日間の体験を行った。電話での依頼・挨拶・手紙の書き方などや、職場での言葉の使い方、緊急事態への対応の仕方を事前指導でしっかり行い、現場へ出かけた。仕事の合間には、ふるさとで働く方への質問を行い、生の声を聞くことができた。</p> <p>③ 児童・生徒に見られた変容</p> <p>進路学習の一環としても、社会勉強としても有意義な学習であった。ふるさとの良さを知り、見直すための良い機会となった。</p>			
			
市役所職員の方の仕事の体験		消防署職員の方の仕事	
記載責任者	講師 齋藤貴子		

特色あるふるさと教育事例 19

学校名	浜田市立第三中学校		
学年	教科等	単元名	ふるさと教育の視点
2	総合	企業説明会 (ジョブカフェ in さんちゅう)	本校のキャリア教育の一環として地元企業や職業についての理解を深め、ふるさとで働くことの意義や良さを知る。
<p>1 取組の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 説明をしていただく地元企業について、事前にHPやパンフレットなどで調べる。 企業への質問内容をグループで考え、演習を行う。 地元企業9社の担当の方から、グループごとに説明を聞き、考えた質問をすることによってふるさとで働くことの良さや意義を知り、今後の進路選択の一助とする。 振り返り活動を重視し、どのようなことを学んだかを確認する。 <p>2 ふるさと教育の視点を持った授業（活動）にせまるための授業づくりのポイント（工夫）</p> <ul style="list-style-type: none"> 地元企業9社の説明を聞くことによって、友達と協力して事前の調べ学習を行い、ふるさとをあらためて見つめ直し、こらからの自分自身の生き方について、深く考えるような学習活動を行う。 <p>3 児童・生徒に見られた変容</p> <ul style="list-style-type: none"> 将来就きたい仕事に実感がわからない生徒もいたが、様々な業種について聞くことができ、考えるきっかけになった。 働くことの大変さを直に話を聞き、保護者の方への感謝を感じる生徒がたくさんいた。 地元にもたくさん企業のあり、地域のために貢献していることを知った。 3年生になったら、職場体験学習で今回説明を聞いた企業に行ってみたいという生徒がたくさんいた。 話を真剣に聞き、話す人のことを考えて活動できる生徒がたくさんいた。 中学校卒業後の自分の進路について、真剣に考える生徒がたくさんいた。 時間内に聞けなかった質問について、休憩時間を使って自主的に聞きに行く生徒の姿が見られた。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			
記載責任者	岡本 夏樹		

特色あるふるさと教育事例 20

学校名	浜田市立第四中学校		
学年	教科等	単元名	ふるさと教育の視点
全校	総合的な学習の時間	稲作活動（田植え、稲刈り、しめ縄づくり、餅つき）	ふるさとの基幹産業である稲作を自分たちで体験することにより、農業について関心を持たせ、主体的、創造的、協働的に物事に取り組む生徒を育てる。

1 取組の概要

学校田を利用し、公民館や地域支援コーディネーター等と連携を図りながら、5月の田植え、9月の稲刈り、12月のしめ縄づくりそして3月の餅つきと一年を通して、稲作に関わる授業を実施した。また、この活動には校区の小学校や幼稚園とも関わりを持ちながら行うことができた。

2 ふるさと教育の視点を持った授業（活動）にせまるための授業づくりのポイント（工夫）

全校生徒を縦割りで、田植え担当、稲刈り担当等に分担し、準備や当日の進行などを行った。全員で作業に取り組むことにより、協同的な活動にすることができた。またみんなの前で感想発表なども行い、表現活動にも関わる授業とすることもできた。

3 児童・生徒に見られた変容

伝統的な活動である稲作活動を通して、働くことのたいへんさや収穫の楽しさを感じることができた。生徒たちの積極的の作業に取り組み汗を流す姿を見ることができた。また普段接することの少ない地域の方との交流も少しずつではあるができるようになった。

年度末の生徒や教職員のアンケートでも「稲作活動などの体験学習は有意義だと思う。」「活動に積極的に関わることができた。」と答えた生徒、職員が90%以上と肯定的な意見が多かった。

来年度はより生徒が主体的に関わるように、促していきたい。



記載責任者 森内 豪

特色あるふるさと教育事例 21

学校名	浜田市立浜田東中学校		
学年	教科等	単元名	ふるさと教育の視点
3年	総合的な学習の時間	進路講演会 接遇講座	地域の人とかかわりながら、地域にある素材を活用した学習活動を行うことを通して、豊かな人間性や社会性、表現力やひととかかわる力などを育む。
<p>1 取組の概要</p> <p>セブンイレブン浜田国分店の店長の府川要之さんをお招きし、職場体験を前にした生徒に対し、働くための資質と心構えについて講和をしていただいた。接遇に視点を当てた講演を通して、働くときに大切にしなければならないこと、働く人として人に接するためにどんなことを考えて接すればよいか、といったことを考え、思考を深めた。</p> <p>2 ふるさと教育の視点を持った授業（活動）にせまるための授業づくりのポイント（工夫）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分たちが体験する職場体験学習を充実したものにするために、職業について考えを深める。 ○職場で、お客さんや社員の人たちと接するときに、どのようなことに気を付ければよいか意識をする。 ○人と人が接するとき、どのようなことを意識するとより良い関係が築けるか考えさせる。 <p>3 児童・生徒に見られた変容</p> <p>生徒は1年生のときに職場見学をし、職業に関して知識や理解を深めてきた。3年生の1学期から職場体験学習をするために、自分で職種を選び職場を決め、職場体験に備えてきた。自己紹介文を書き、職場に電話をし、事前打ち合わせのアポイントメントを取り、夏休みに事前打ち合わせに行くといった準備を進めてきた。そこで、進路講演会、接遇講座を開き、働くための資質と心構えについて理解を深め、人に接するときの心構えや方法を学んだ。</p> <p>職場体験で役に立つには、どんなことを考えて行動すればよいか、思いを巡らせたり、どのような挨拶や接し方をすれば、良い印象を持ってもらえるか考えて、職場体験学習に備えていた。</p> <p>1年生の時は、職業について知ることが中心で、自分が働くというイメージが持てずにいたが3年生では、自分が将来働くことも考えながら、職業に対する責任感を持ちながら、体験活動を進める姿が多く見られた。</p>			
記載責任者	三浦 貢		



特色あるふるさと教育事例 22

学校名	浜田市立金城中学校		
学年	教科等	単元名	ふるさと教育の視点
全学年	総合	ふるさと学習 ハッチョウトンボを守ろう！	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の「ひと・もの・こと」の活用 ・ふるさとへの愛着や誇りの醸成
<p>1 取組の概要</p> <p>絶滅が危惧されるハッチョウトンボの生息が確認されている金城町でハッチョウトンボを守る会・まちづくり委員会と連携して守るために中学生にできることを考え、実践する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>(1) ハッチョウトンボ学習会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハッチョウトンボのことを知る。 ・ハッチョウトンボとまちづくりを考える </div> <div style="width: 45%;"> <p>(2) ハッチョウトンボ観察会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地調査 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div> <p>(3) ハッチョウトンボ保全に関する対策会議（生徒会執行部が参加）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;">  </div> <div style="width: 65%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ハッチョウトンボを守るために中学生にできることを話し合う ・本年度は登下校路や自宅周辺を調査し、目撃情報をハッチョウトンボの研究をしている浜田高校自然科学部に提供すること決定 ・全校生徒に生息地調査と目撃情報の提供を呼びかけ ・生息地の保全ボランティアへの参加呼びかけ ・継続して活動に参画していくことを確認 </div> </div> <p>2 ふるさと教育の視点を持った授業（活動）にせまるための授業づくりのポイント（工夫）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際の地域課題を取り上げること ・生徒に問題意識をもたせること ・実際の地域活動へ参画させ、地域に役立っている感覚を味わわせる。 ・地域側とねらいの共有、計画、振り返りの時間をもつこと。 <p>③児童・生徒に見られた変容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと金城の魅力を再発見できた。 ・ふるさと金城を誇りに思うようになった。 ・積極的に地域行事に参加するようになった。 ・地域の方の期待に応えたい気持ちが芽生えた。 			
記載責任者	山本浩樹		

特色あるふるさと教育事例 23

学校名	浜田市立旭中学校		
学年	教科等	単元名	ふるさと教育の視点
2	総合的な学習の時間	修学旅行を通してふるさと旭の良さや課題を見つけよう	自分たちの住んでいる地域と都会とを比較をすることで、地域の魅力や、課題に対する対策についての考え方を深める
<p>①取組の概要</p> <p>○地域の課題をもとにテーマを設定し、課題解決に向けた経験や情報が得られることを意識しながら班別自主研修のコース決めをする。 (総合的な学習の時間)</p> <p>○修学旅行先で旭の特産品である梨の販売を通して、旭の魅力を発信する。 (総合的な学習の時間)</p> <p>○研修を通して体験したり、気づいたことをもとに学習のまとめをする。併せて旭町の発展のために何ができるかを考え、提案発表をする。 (総合的な学習の時間)</p> <p>②ふるさと教育の視点を持った授業(活動)にせまるための授業づくりのポイント(工夫)</p> <p>○1年生の時に実施したふるさと学習をもとに、ふるさと旭の良さや課題点を確認しながらテーマを設定した。</p> <p>○旭の特産品の良さや旭町の魅力についてどのようにしたら伝えられるかを考えてアイデアを出し合い、旭支所の協力を得ながら準備・販売を行った。</p> <p>③児童・生徒に見られた変容</p> <p>○テーマを意識して東京での班別自主研修を実施したことで、都会の魅力について知るだけでなく、ふるさと旭の魅力や、地域が抱える課題の解決策についても新たに気づいたり、深く考えたりすることができた。</p> <p>○旭の特産品である梨の販売方法を考えることを通して、地域の特産品の魅力に改めて気づくとともに、その良さを発信する方法についても深く考えることができた。また、購入していただいた方々とのやりとりを通して、ふるさとの良さを再発見したり、ふるさとを誇りに思う意識を高めたりすることができた。</p>			
記載責任者	小田 貴司		



特色あるふるさと教育事例 24

学校名	浜田市立弥栄中学校		
学年	教科等	単元名	ふるさと教育の視点
1年	総合	弥栄の未来を考える	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との交流を通して、故郷に愛着をもち、すすんで地域社会に貢献しようとする態度を育てる。 ・地域社会の実態を知り、自分の考えを持ち発信する力を育てる。

① 取組の概要

- ・生徒の考えをもとにテーマを設定し、現在の弥栄の取組と課題を知る。その中から、自分の課題を設定し、調べ学習をすすめ、今の弥栄町の産業や特色についてまとめた。そのことから自分の意見を持ち発表する。

② ふるさと教育の視点を持った授業（活動）にせまるための授業づくりのポイント（工夫）

- ・弥栄のよいところや課題に思うことを生徒に出させ、それをもとに学校での活動と重ならないよう配慮し、中学校として地域との関わりを広げられるようなテーマを設定した。
- ・中学校の案をもとに、テーマに沿った人や事業所を地域の公民館にコーディネートしていただいた。また、活動全般にわたって参加していただき、連携して実施した。
- ・自然豊かな弥栄町内の環境のもとで、畜産業や林業・農業の体験をさせていただいた。それぞれの産業を持続、発展させるために挑戦されていることなどを聞かせていただき、課題を見つけ解決に向けて、調べ学習するなど探求的に学びを深めた。
- ・レポートやスライドにまとめ、弥栄の未来について考えたことを学習発表会で地域に発信した。

③ 児童・生徒に見られた変容

- ・「弥栄をますます好きになった」「弥栄の畜産業に就きたい」「弥栄には沢山いいところがある」という感想が多く見られるようになった。
- ・「自然豊かな町を守りたい」「弥栄を大切にしていきたい」などの自分の考えを、調べてわかったこととともに、自信をもって発表することができた。



弥栄の林業の現状を体験的に学ぶ



弥栄の農業と畜産業の現状について学ぶ

記載責任者 正田 裕子

特色あるふるさと教育 25

学校名	浜田市立三隅中学校		
学年	教科等	単元名	ふるさと教育の視点
全学年	美術	スケッチ大会	描くことを通して、ふるさとの自然の美しさに触れ、ふるさとのよさに感動する心を培う。
<p>①取組の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生は古湊漁港、2年生は三隅神社、3年生は龍雲寺を描く。 ・ 石正美術館から学芸員を講師として招き、ふるさとを見つめる視点や描き方などを学ぶ。 ・ 事後は美術教員と講師が作品を審査し、金賞・銀賞・銅賞・校内特別賞を決める。 金賞受賞者の作品は、浜田市図画審査会および全島根賞・中学校図画展などの作品展に出品したり、校内展示や地域の祭りで展示したりする。 ・ 地域ボランティアの方に、安全面の見守りをさせていただく。 <p>②ふるさと教育の視点を持った授業（活動）にせまるための授業づくりのポイント（工夫）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事前指導として、それぞれの学年が描く場所の写真を美術室に掲示しておき、描くポイントを示しておく。 ・ スケッチ大会当日に全体開会式を開き、講師からふるさとを描くねらいについてお話をしていただく。 ・ 事後にふるさと教育の視点で振り返りを行う。 <p>③生徒に見られた変容</p> <p>1年生は中学生になって初めての写生であったが、海の透き通った色や船の迫力をどのように表すか等、一生懸命に考えながら描いている生徒が多かった。2～3年生は、昨年よりもうまく描きたいと意欲をもって取り組む生徒が多かった。とくに3年生は、写生前に龍雲寺の方から講話を聞くことで、ふるさとの歴史を感じながら写生に臨む姿が見られた。</p> <p>また、講師から色作りについて話を聞くことで、全体的に、色に工夫を凝らそうとしている様子が見られた。</p>			
記載責任者	山本 晴香		





令和元年度 海洋教育推進事業

浜田市内小学校・幼稚園

海洋教育実施概要集

小学校 16 校

幼稚園 1 園



浜田の海洋教育

～浜田の海(山・川)に親しむ、知る、活かす、守る、共に生きる～

浜田市教育委員会

海洋教育は、「海に親しむ」ことから始まり、「海を知る」ことで海への関心を高め、さらに海と人との共生のために「海を活かす」こと、「海を守る」ことの大切さを学ぶ学習です。

浜田の海洋教育は、浜田の魅力である海をテーマとした学びを深めるとともに、海に注ぐ水の流れにも着目することによって、浜田市全域でふるさとの海、森林、そして河川に関わる様々な学習を行い、ふるさとに対する愛着を深め、ふるさとを誇りに思い、持続可能なふるさとのために何ができるかを考え、行動する子どもたちを育てます。

海(山・川)に親しみ、豊かな感受性や興味関心等を培い、それに進んで関わろうとする。

海に親しむ

海(山・川)の自然や資源、それをとりまく人や社会との深い関わりやその歴史について関心をもち、進んで調べようとする。

海を知る

海を活かす

海(山・川)の資源活用、世界とつながる船舶輸送について理解し、それらを持続的に活かすことの大切さを理解しようとする。

海と共に生きる

海を守る

海(山・川)の環境について調べる活動やその保全活動などの体験を通して、環境保全に主体的に関わろうとする。

次代を担う子どもたちが、ふるさとの海(山・川)と共に生きる意識とその資質・能力を身に付けることができるように、学校は、浜田の海(山・川)に関連した関係機関、団体等と連携協働しながら浜田の海洋教育の推進を図ります。地域においては、ふるさと郷育及びはまだっ子共育で推進します。

令和元年度海洋教育推進事業

海洋教育実施概要

頁	学校名	学年	教科等	単元名又は授業名	めあて・目標	視点	関係機関・団体
1	原井小学校	4年	総合	浜田の海と共に生きる～海の魅力を紹介しよう～	浜田の海の魅力に触れる活動を通して、ふるさと浜田の海やそこに生きる生物の生命を守ろうとする態度を養う。	活かす	浜田の海で生活する会
2	雲雀丘小学校	3～6年	体育	海に親しもう	浜田市の豊かな自然のなかで体験活動をすることで、豊かな情操を養うとともにふるさとの魅力を体感する。	親しむ	三隅B&G海洋センター
3	松原小学校	5年	総合	ぼくらは、外ノ浦探検隊！	北前船によって様々な物や文化が浜田に伝えられたことを知る。浜田市の輸出産業が日本の輸出産業にて重要な役割を担っていることを知る。海を大切にしていきたいという思いをもつ。	親しむ	浜田市観光課、浜田市文化振興課、TSK、日本財団海と日本PROJECT
4 (2)	石見小学校	3年	総合	調べよう、浜田の塩	藻塩づくり体験を通して、ふるさと浜田市の海のすばらしさに気づく。	親しむ	浜田の海で生活する会
		4年	総合	ふるさと浜田の魅力、再発見！！	又一体験を通して、ふるさと浜田市の海や川のすばらしさを知る。	親しむ	B&G海洋センター
5	美川小学校	全学年	図工	絵ハガキにふるさとの海を表そう	アクアスにいる海の生物や身近な海の風景などを絵ハガキに描くことを通して、ふるさとの海に対する愛着を深める。	親しむ	しまね海洋館アクアス
6 (2)	周布小学校	5年	社会	水産業のさかんな地域	我が国の水産業の様子に関心をもち、水産業が盛んな地域の生産活動について意欲的に調べたり、日本の水産業の仕組みについて考えたりしようとする。	知る 守る	
7	長浜小学校	5年	総合	カヌー体験	海での自然体験活動を通して、海の大切さや海で遊ぶ楽しさを知る。水遊びのときに、気をつけることを知る。	親しむ 知る	三隅B&G
8 (6)	国府小学校	2年	生活科	生きものなかよし大作せん	生き物を採集したり、観察したりする活動を通して、生き物への親しみをもち、ふるさとの生き物を大切にしようとする態度を育てる。	親しむ	しまね海洋館アクアス
		3年	総合	ぼくたちの宝物 ～国府の海を調査せよ～	わかめ干しやわかめの調理、置ヶ浦の調査を通して、身近にある国府の海に親しむ。	親しむ	国府公民館 観光ボランティア
		4年	総合	こくふっこ環境調査隊[ふるさとの海を守ろう]	地域の川や海の水質調査を通して、水辺の環境保全に興味をもち、環境を守る活動や環境の大切さを発信する取り組みから、ふるさとの自然を守っていこうとする態度を育てる。	知る 守る	しまね海洋館アクアス・浜田市役所環境課・下府川を楽しむ会
		4～6年	クラブ	魚釣りを体験しよう	魚釣りを体験しよう	親しむ	しまね海洋館アクアス
9	三階小学校	5年	社会	貿易について知ろう・考えよう	我が国や浜田の貿易について知り、海を介して貿易がなされていることの認識を深める。	知る 活かす	財務省神戸税関 浜田税関支署
10	雲城小学校	4年	総合	金城の宝「ハッチョウチョウトンボ」を守ろう	金城の宝であるハッチョウチョウトンボの保全活動を通して、山を守ることが海洋を守ることにもつながることに気づくことができる。	守る	ハッチョウチョウトンボ妖精の守り人
11	今福小学校	5年	総合	浜田の魚を調理して食べてみよう	地元の魚を自分で調理し、食べる活動を通して、地元の水産業への興味・関心を高める。	親しむ 知る	浜田市水産業振興協会、浜田市水産振興課
12	波佐小学校	3・4年	総合	周布川を調べよう	海其自然や資源、海を取りまく人や社会との深い関わりについて関心をもち、進んで調べようとする児童を育成する。	知る	しまね海洋館アクアス
13 (3)	旭小学校	2年	生活科	生きもの なかよし大作せん（海の生き物をしろう）	海にすむ生物に関心をもち、生物の多様性に気付き、自分たちと同じように生命をもっていることに気付くとともに、生き物に親しむ気持ちを持つことができるようにする。	知る	しまね海洋館アクアス
		4年	学級活動	「食べてみよう！地域でとれる食材や食品」	地域の産物に興味をもち、日常の食事と関連づけて考えることにより、郷土を身近に感じるとともに、食べ物、食事に感謝する心を育てる。	活かす	旭学校給食センター
		5年	社会	「水産業のさかんな地域」	我が国の水産業に関心を持ち、水産業が自然環境を生かして営まれ国民の食生活を支えていることや、水産物には外国から輸入しているものがあること、主な漁場の分布、水産業に従事している人々の工夫や努力、生産地と消費地を結ぶ輸送の働きを理解するとともに、国民生活を支える水産業の発展について考えようとする。	活かす	
14	弥栄小学校	3・4年	総合	環境守り隊	地域の自然に触れ、自然環境を守るために自分たちでできることは何かを考える。	守る	杵束公民館 安城公民館
15	三隅小学校	5年	総合	三隅の海を知ろう	ふるさとの海について学習し、地域の海の良さや素晴らしさを知るとともに、ふるさとの海を守るためにどのようにすればよいかを考える。	親しむ	福浦漁港 漁業組合
16	岡見小学校	5・6年	総合	岡見の素晴らしさを海から見つめよう！	岡見を海から見つめたり、地域の方に岡見の自然について話を聞いたりすることで、ふるさと岡見の素晴らしさに気づき、ふるさとを誇りに思う心を育てる。	活かす	岡見地区自治振興会 岡見須津船頭会 JFしまね 西部県民センター
17	美川幼稚園			マリンスポーツを楽しもう「カヌー体験」	カヌーに乗る楽しさを知ったり並みを感じたりする。	親しむ	三隅B&G

※総合：総合的な学習の時間

海洋教育実施概要 1

学校名		浜田市立原井小学校
学年	教科等	単元名又は授業等名
4年	総合的な学習の時間	「浜田の海と共に生きる～海の魅力を紹介しよう～」
<input type="checkbox"/> 海に親しむ <input type="checkbox"/> 海を知る <input checked="" type="checkbox"/> 海を活かす <input type="checkbox"/> 海を守る		
単元又は授業等のめあて・目標		浜田の海の魅力に触れる活動を通して、ふるさと浜田の海やそこに生きる生物の生命を守ろうとする態度を養う。
関係機関・団体等		浜田の海で生活する会
単元又は授業等の概要（時間数）		
<p>本学習では、浜田の海との共生について考えることをねらいとし、「浜田の人と浜田の海にすむ生き物の生命の安全を守りたい」という目標を掲げ、学習を行った。アクアスの職員さんをはじめとするNPO法人「いわみっこ」の方にも協力していただきながら専門的な知見から児童の探究活動を支えて、海の環境についての理解が深まった。そして、浜田の海の魅力を知りたい、浜田の環境問題についてもっと知りたいという気持ちも高まった。そこで、浜田の海の魅力を知るために、「浜田の海で生活する会」に協力してもらいながら、浜田の海で採取した海水やかじめを使って藻塩づくり体験を行うことにした。</p> <p>藻塩づくりは、海水とかじめを煮込んで水分を飛ばし、脱水機にかけてにがりをとりのぞいて完成させる。完成した藻塩は持ち帰り、家庭で藻塩の味を楽しみ、浜田の海の魅力に親しんだ。（70時間）</p>		
		
海洋教育の目標にせまるための単元計画又は授業・活動づくりのポイント（工夫したこと）		
<p>「浜田の海」という大きなテーマから、子どもたちが連想するものをウェビングマップに表し、そこから子どもたちが自分たちで話し合っって課題を設定していった。そして、子どもたちが考えた課題を基に、「浜田の人と浜田の海にすむ生き物の生命の安全を守りたい」という目標を掲げた。</p>		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
<p>学習後の感想では、「いつも食べる塩と比べて、藻塩の方がいろいろな味がしておいしかった。」、「どんちっち三魚以外に浜田の魅力があることを初めて知った。」などの意見があった。また、自主学習で浜田の藻塩を使った料理の紹介をする子どももいた。これらのことから、藻塩を浜田の魅力として実感できた子どもが多く、有効な活動であったことがうかがえた。その一方で、その魅力を発信したいという気持ちがあまり高まらなかったため、浜田の魅力に触れる様々な体験活動を設定するべきであったと感じた。</p>		
記載者氏名	園山 慧	

海洋教育実施概要 2

学校名		浜田市立雲雀丘小学校
学年	教科等	単元名又は授業等名
3～6	体育	海に親しもう
(○) 海に親しむ () 海を知る () 海を活かす () 海を守る		
単元又は授業等の めあて・目標	浜田市の豊かな自然のなかで体験活動をすることで、豊かな情操を養うとともにふるさとの魅力を体感する。	
関係機関・団体等	三隅B & G海洋センター	
単元又は授業等の概要（時間数）		
<p>○水辺の安全教室（1時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライフジャケットを身に付け、水遊びをしながら水に親しむとともに、緊急時の対応の仕方などについて学んだ。 		
		
<p>○カヌー体験（1時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カヌーを操る技術を身に付け、マリンスポーツを楽しんだ。 		
		
<p>海洋教育の目標にせまるための単元計画又は授業・活動づくりのポイント（工夫したこと）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験を重視し、プールとはまた違った楽しみ方を味わうことで、海に親しみをもてるようにした。 ・水辺の安全教室とカヌー体験をセットにして実施することで、海がもつ楽しい面と危険な面を同時に学べるようにした。 		
<p>児童に見られた変容、取組の成果や課題等</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・普段水泳の学習で水を怖がる児童も、カヌー体験はとても楽しめた様子で、またやりたいと発言するなど、水に親しむことができた。 ・海水浴やマリンスポーツができる海が身近にあることを再認識できた。 ・釣りをすることは夏に限らず計画できるし経験させたい。ただし、活動時間のことや釣った魚の保存のこと等課題もあるので、実施は難しいかもしれない。 		
記載者氏名	野津 道人	

海 洋 教 育 実 施 概 要 3

学校名		浜田市立松原小学校
学年	教科等	単元名又は授業等名
5	総合的な学習	ぼくらは、外ノ浦探検隊！
<input type="checkbox"/> 海に親しむ <input checked="" type="checkbox"/> 海を知る <input type="checkbox"/> 海を活かす <input checked="" type="checkbox"/> 海を守る		
単元又は授業等のめあて・目標		<ul style="list-style-type: none"> ・北前船によって様々な物や文化が浜田に伝えられたことを知る。 ・浜田市の輸出産業が日本の輸出産業にて重要な役割を担っていることを知る。 ・海を大切にしていきたいという思いをもつ。
関係機関・団体等		浜田市観光課、浜田市文化振興課、TSK、日本財団海と日本 PROJECT
単元又は授業等の概要（時間数）		
<p>第1次 北前船について知ろう。（1～3時間） 浜田市文化振興課の方に来ていただき、北前船についての概要と浜田との関わりなどについて説明をしていただいた。その後、学級として探求していく課題づくりを学級全体で行った。</p>		
		
<p>第2次 北前船について調べよう（4～12時間） 児童達が考えた課題を元に課題追求の活動を行った。課題探求の方法としては、図書を使っての調べ学習、地域の専門家の方へのインタビュー、フィールドワーク（外ノ浦での実地調査、浜田港での見学）を行った。主に、外ノ浦港の港としての役割や地形の優れた点、浜田港が浜田市と世界との貿易の一助を担っていることについて学習した。</p>		
		 
<p>第3次 北前船について伝えよう。（13～20時間） 調べたことや今回の学習で学んだことや気づいたことを一人ずつがリーフレットでまとめた。その後、そのリーフレットの内容をもとに学習発表会で劇を考え、海を大切にしていきたいという思いを全校に伝えた。</p>		
		
海洋教育の目標にせまるための単元計画又は授業・活動づくりのポイント（工夫したこと）		
<ul style="list-style-type: none"> ・児童の考えた課題を大切に、単元計画を作成した。 ・コーディネーターと協力をして、地域人材を有効に活用することができた。 ・司書教諭と情報共有をしながら資料の準備をしていくことで子ども達の課題追求により有効な資料を用意することができた。 ・座学での調べ学習だけではなく、実際に浜田の街に出て本物に触れることで子ども達の学習がより実感を伴ったものになった。 		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
<p>○フィールドワークの時に発見した海のゴミを見て、浜田の海を守っていききたいという気持ちを強くもった児童が多くいた。</p> <p>○外ノ浦や浜田港について学習し、浜田が海を流通の経路として大切にしていることを理解した。</p> <p>●海を守っていくことにつながる活動（ゴミ拾い）などまで展開することができれば、子ども達の海を大切にしたいという想いがより深まったと考えられる。</p>		
記載者氏名	畑 祐介	

海 洋 教 育 実 施 概 要 4-1

学校名		浜田市立石見小学校
学年	教科等	単元名又は授業等名
3	総合的な学習の時間	「調べよう、浜田の塩」
(○) 海に親しむ (○) 海を知る () 海を活かす () 海を守る		
単元又は授業等の めあて・目標		藻塩づくり体験を通して、ふるさと浜田市の海のすばらしさに気づく。
関係機関・団体等		浜田の海で生活する会
単元又は授業等の概要（時間数）		
<p>1. 実施日 6月27日（木） 8：40～10：10 32名実施（1組30名 ふたば学級2名） 10：40～12：10 33名実施（2組31名 ひまわり学級2名）</p> <p>2. 参加者 3年生児童65名</p> <p>3. 内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 浜田の海で生活する会の方からのお話 2 藻塩作り体験 <ul style="list-style-type: none"> ・ 浜田の藻塩作りに必要な海藻の紹介 ・ 藻塩作り ・ 試食 ・ パック詰め体験 3 感想発表 4 お礼の言葉 		
		
海洋教育の目標にせまるための単元計画又は授業・活動づくりのポイント（工夫したこと）		
藻塩作り体験をする前に、事前に様々な塩に触れさせ、塩を比較させた。そうすることで、浜田の藻塩の特徴に気づくことができた。		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
藻塩作りを通して、地域の産業に興味を持ったり、浜田氏の特徴に興味をもったりする児童がいた。また、講師の方の話を聞くことで、浜田で働く人にも興味を持ち、仕事のやりがいなどに目を向けていた。		
記載者氏名	板垣 大助	

海洋教育実施概要 4-2

学校名		浜田市立石見小学校
学年	教科等	単元名又は授業等名
4	総合的な学習の時間	「ふるさと浜田の魅力、再発見！！」
(○) 海に親しむ (○) 海を知る () 海を活かす () 海を守る		
単元又は授業等のめあて・目標		カヌー体験を通して、ふるさと浜田市の海や川のすばらしさを知る。
関係機関・団体等		B&G 海洋センター
単元又は授業等の概要（時間数）		
<p>1. 実施日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4年2組 8月30日(金) 9時～11時30分 ・ 4年1組 9月18日(水) 9時～11時30分 <p>2. 参加者</p> <p>4年生児童67名</p> <p>3. 内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 B&G 海洋センターの方からのお話 <ul style="list-style-type: none"> ・ 海遊びにおける安全対策 ・ 危険から身を守る方法 等 2 浮遊体験 <ul style="list-style-type: none"> ・ 救命胴衣を着用した浮遊体験 ・ 事故にあった場合の救助方法 等 3 カヌー体験 <ul style="list-style-type: none"> ・ オールの扱い方 ・ 方向転換の仕方 等 		
海洋教育の目標にせまるための単元計画又は授業・活動づくりのポイント（工夫したこと）		
海遊びで予想される危険について理解させるとともに、海遊びの楽しさ、海の魅力を体験的に理解させる。		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
浮遊体験をした児童は、ペットボトルひとつで自分の体が浮くことや、ペットボトルを利用したロープの投げ方を知り、自分の身を守ることにに対する意識が高まった。また、実際にカヌーを漕いで、目標地点まで行ったり、方向転換したりする体験を通して、海遊びの楽しさを実感できた。		
記載者氏名	野村 浩吉	



海洋教育実施概要 5

学校名		浜田市立美川小学校
学年	教科等	単元名又は授業等名
全	図工	絵ハガキにふるさとの海を表そう
(○) 海に親しむ () 海を知る () 海を活かす () 海を守る		
単元又は授業等の めあて・目標		アクアスにいる海の生物や身近な海の風景などを絵ハガキに描くことを通して、ふるさとの海に対する愛着を深める。
関係機関・団体等		しまね海洋館アクアス
単元又は授業等の概要（時間数）		
<p>しまね海洋館アクアスが主催する「ハガキで描こうアクアスの海」に全学年が参加し、図工の時間に作品作りに取り組んだ。作品を構想するにあたって、海洋教育推進事業の助成金で購入した書籍を読み、みんなの海を大切に守っていこうとする思いを膨らませてから、作品作りを進めた。（時間数は2時間～4時間）</p>		
		
<p>海洋教育の目標にせまるための単元計画又は授業・活動づくりのポイント（工夫したこと）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚の住処と生き物の体の特長などを結びつけて構成を考えさせた。 ・〇〇をしている□□のように、頭の中でお話を想像しながら作品作りをするよう助言をした。 		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
<p>海の生き物を写真で見たり、説明文を読んだりして、体の特長や部位の役割などを捉えながら活動したことで、海の生き物への愛着や環境保全への思いが高まったと思われる。</p>		
記載者氏名	堀内 一	

海 洋 教 育 実 施 概 要 6

学校名		浜田市立周布小学校
学年	教科等	単元名又は授業等名
5	社会	水産業のさかんな地域
<input type="checkbox"/> 海に親しむ <input checked="" type="checkbox"/> 海を知る <input type="checkbox"/> 海を活かす <input checked="" type="checkbox"/> 海を守る		
単元又は授業等の めあて・目標		我が国の水産業の様子に関心をもち、水産業が盛んな地域の生産活動について意欲的に調べたり、日本の水産業の仕組みについて考えたりしようとする。
関係機関・団体等		
単元又は授業等の概要（時間数） ※写真があれば挿入する。		
<p>1.なぜ、日本ではどこでも、たくさんの種類の魚を食べることができるのかを考える（1時間） ・日本の魚の消費量の多さに着目させるために、寿司のネタの多さや他国と日本の魚の消費量の違いを比較したりする。</p> <p>2.なぜ、日本ではたくさんの種類の魚がとれるのかを考える（1時間） ・日本が豊かな漁場であることに気付かせるために、資料を基に地理的条件や海流に目を着目する。</p> <p>3.なぜ、どの県でもたくさんの魚が食べられるのかを考える（1時間） ・交通網の発達や輸送技術の進歩が新鮮な魚を届けることができる要因の一つだと気付かせる。</p> <p>4.日本の漁業生産量が落ちている理由について考える（1時間） ・底魚、浮魚など魚がいる場所の違いから全ての魚が同じ方法で獲れるかを考える。 ・魚によって、獲れる場所が違うことを確認し、遠洋漁業、沖合漁業、沿岸漁業という分類があることを知る。</p> <p>5.「つくり育てる漁業」の取組について知る（1時間） ・生産量の変化に着目し、「つくり育てる漁業」の工夫とよさについて考える。</p> <p>6.水産業とは、資源の保全、研究、運輸など多くの人々の働きや関わりによって営まれていることを知る。（1時間） ・運搬、加工、水産資源の保全、研究など、いろいろな人の働きによって自分たちの食生活が支えられていることに目を向ける。</p> <p>7.日本の水産業について詳しく調べよう。【水産業博士になって伝えよう】（5時間） ・学習した内容から疑問に感じたことや、追究してみたい内容を図書資料から調べ、新聞にまとめていく。まとめた内容は他学年に発信していく。</p>		
海洋教育の目標にせまるための単元計画又は授業・活動づくりのポイント（工夫したこと）		
<p>教科書で学習した内容をもとに、関心を広げ、知りたいことを図書資料から調べ、追究していく活動を通して、海を深く知り、守りたい、大切にしたいという思いが児童の中で膨らんでいくような活動にした。そのために、児童の興味関心に合わせた資料の選定や、多様な課題に対応できる資料の準備を図書館司書と連携して行った。その中で、島根県の漁業や地域ごとの漁業の実態に関心をもつ児童が多かったため、漁港をベースにした町づくりに関すること、都道府県別のデータが分かるものを委託費より別途購入をした。</p> <p>活動のまとめとして、調べた内容を他学年に発信する場を設定した。発表を通して、水産業やそれに関わる仕事が日本にとって大切な産業であることを改めて実感できる場になるようにした。</p>		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
<p>児童の関心に合わせた資料や多様な課題に対応できる資料を用意できたことで、集中して調べ学習を進めたり、複数の資料を比較したりしながら新聞にまとめることができていた。また、まとめた後にも、次に気になる課題をすぐに調べ始め、より深く水産業についての知識や理解を深めることができた。</p>		
記載者氏名	長松 健	

海 洋 教 育 実 施 概 要 7

学校名		浜田市立長浜小学校
学年	教科等	単元名又は授業等名
5	総合的な学習	カヌー体験
(○) 海に親しむ (○) 海を知る () 海を活かす () 海を守る		
単元又は授業等の めあて・目標		海での自然体験活動を通して、海の大切さや海で遊ぶ楽しさを知る。 水遊びのときに、気をつけることを知る。
関係機関・団体等		三隅 B&G
単元又は授業等の概要（時間数） ※写真があれば挿入する。		
<p>三隅 B&G の方を講師に招き、熱田海岸でカヌー体験と安全教育を行った。</p> <p>○カヌー体験 一人一艇カヌーに乗った。初めてでも上手に漕いで見事に操作できる人、パドルの操作が難しく慣れるまでに少し時間がかかる人、それぞれだったが、最終的に全員が講師の方について、テトラポットの少し先まで行くことができた。船酔いする人もおらず、気持ちよく漕ぐことができた。</p>		
		
<p>○水辺の安全教室 ライフジャケットの効果や水辺での危険箇所、おぼれている人の助け方など、水遊びの際に気をつけることを教わった。</p>		
海洋教育の目標にせまるための単元計画又は授業・活動づくりのポイント（工夫したこと）		
<p>○カヌー体験 ・子ども達が安全に活動できるように、波や風、子ども達の様子を見ながら活動を進める。</p> <p>○水辺の安全教室 ・さまざまな泳ぎを知ることを通して、自分にあった楽な泳ぎ方を見つける。</p>		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
<p>○自分たちの身近にある海から多くのことを学んだ。実際に見学したり体験したりすることを通して、地域の海や港をより身近に感じるとともに、重要性にも気付くことができた。</p> <p>○たくさんの講師の方とコミュニケーションを図ったり交流したりして、それぞれの思いを知ったり海の良さを自分が感じたりし、海を大切にしようという意識や海への関心が高まった。</p>		
記載者氏名	寺本 優子	

海洋教育実施概要 8-1

学校名		浜田市立国府小学校
学年	教科等	単元名又は授業等名
2	生活科	生きものなかよし大作せん
(○) 海に親しむ () 海を知る () 海を活かす () 海を守る		
単元又は授業等の めあて・目標	生き物を採集したり、観察したりする活動を通して、生き物への親し みをもち、ふるさとの生き物を大切にしようとする態度を育てる。	
関係機関・団体等	しまね海洋館アクアス	
単元又は授業等の概要（時間数） ※写真があれば挿入する。		
1. 満潮の日の豊ヶ浦で、海の様子や生き物の様子を観察する。（2時間）		
 		
2. 干潮の日の豊ヶ浦で、アクアスの方と一緒に海の様子 や生き物の様子を観察し、 採集する。（2時間）		
 		
3. アクアスの方に、採集した生き物の特徴や育ち方について教えてもらう。		
 		
海洋教育の目標にせまるための単元計画又は授業・活動づくりのポイント（工夫したこと）		
満潮と干潮の海の様子を比べさせることで、生き物の過ごす環境も変化していることをおさえた。生き物の採集をする際にはアクアスの方に採集しやすい場所やコツを教えていただき、安全に留意しながら活動を行うことができた。		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
最初は苦戦し、なかなか自分で生き物を採集することができなかった児童も多かったが、アクアスの方と一緒に活動する中で徐々にコツをつかみ、採集を楽しむ様子が見られた。活動の最後には実際に自分たちで採集した生き物を観察しながら、その特徴や育ち方について教えていただくことで、身近な地域にいる生き物について関心をもつことができた。		
記載者氏名	福庭未紗， 三宅舞	

海 洋 教 育 実 施 概 要 8-2

学校名		浜田市立国府小学校
学年	教科等	単元名又は授業等名
3	総合	ぼくたちの宝物 ～国府の海を調査せよ～
(○) 海に親しむ () 海を知る () 海を活かす () 海を守る		
単元又は授業等の めあて・目標		わかめ干しやわかめの調理，畳ヶ浦の調査を通して，身近にある国府の海に親しむ。
関係機関・団体等		国府公民館 観光ボランティア
単元又は授業等の概要（時間数） ※写真があれば挿入する。		
<p>【ぼくたちの宝物 ～国府の海を調査せよ～（30）】</p> <p>1 わかめについて調査せよ（18）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① わかめを干す。 ② わかめについてイメージマップをかく。 ③ わかめについて課題をもつ。課題を整理する。 ④ わかめについてパソコンで調べる。 ⑤ 船でわかめを採る様子を見学した後，わかめ干しの体験をする。 ⑥ 干しわかめを食べる。 ⑦ 船を出してくださった公民館長さんのお話を聞く。 ⑧ わかめ料理をする。 ⑨ 学んだことを新聞にまとめる。 <p>2 畳ヶ浦を調査せよ（12）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 畳ヶ浦についてイメージマップをかく。 ② パンフレットやパソコンを使って畳ヶ浦についての課題をもつ。課題を整理する。 ③ 畳ヶ浦探検に出かける。 ④ ガイドボランティアさんの話を聞く。 ⑤ 学んだことを新聞にまとめる。 ⑥ 町について調べたことをしょうかいしよう（国語）でグループごとに畳ヶ浦の見所を紹介する。 		
  		
海洋教育の目標にせまるための単元計画又は授業・活動づくりのポイント（工夫したこと）		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 「わかめ」「畳ヶ浦」という実物に触れることで，身近な海に対して今以上の親しみ，誇りをもたせたいと考えた。 ○ 資料を使った調査だけではなく，「わかめ」「畳ヶ浦」に詳しい方に話を聞く時間を作り，児童の疑問を直接解決できるようにした。 		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
<p>学習スタート時には，国府の海 ＝「海水浴」という意識であったが，わかめや畳ヶ浦の調査を通して，国府の海は天然わかめが採れる美しい海，畳ヶ浦は国指定天然記念物で見所満載の海岸だということに気づき，国府の海はすごいという誇りをもつ姿が見られた。一方で海は子どもたちだけで行けないため，自分たちだけで進んで調査できないことや子どもにも読める資料がほとんどなかったことが課題である。</p>		
記載者氏名	小林 恵美	

海洋教育実施概要 8-3

学校名		浜田市立国府小学校
学年	教科等	単元名又は授業等名
4	総合的な学習	こくふっこ環境調査隊 [ふるさとの海を守ろう]
() 海に親しむ (○) 海を知る () 海を活かす (○) 海を守る		
単元又は授業等の めあて・目標	地域の川や海の水質調査を通して、水辺の環境保全に興味をもち、環境を守る活動や環境の大切さを発信する取り組みから、ふるさとの自然を守っていこうとする態度を育てる。	
関係機関・団体等	しまね海洋館アクアス・浜田市役所環境課・下府川を楽しむ会	
単元又は授業等の概要（時間数） ※写真があれば挿入する。		
<p>1 課題設定〔活動の中から問題意識をもち課題を設定する〕（25時間） ふるさとの海（豊ヶ浦）をフィールドワークして、生き物が豊かに暮らす環境があるかを調査した（写真①）。その結果、きれいな水質でないとい生きられない生き物が多く生息しているということが分かった。しかし、海岸にたくさんのごみが打ち上げられているということに気が付く児童もたくさんいた。ここに問題意識をもち、豊ヶ浦の生き物を守るために環境をよくする取組をするという学習課題を設定した。</p> <p>2 探究的な学習〔問題についての知識を広げていく〕（15時間） ふるさとの海の環境をよくするために国府海岸のごみ拾いの計画を立てた。公民館を通してビラを配り、ごみ拾いの参加者を募ったところ、地元のサッカーチームや地域の方が集まってくださり、たくさんのごみを集めることができた（写真②）。続いて、拾い集めたごみはどこからきたものか、環境にどのような影響を与えているかについて、市役所の環境課の方や水辺の環境を守る活動をしている方から教えていただいた（写真③④）。海岸にあるごみの大半が日本のごみであること、大量のプラスチックごみが生き物の命を脅かしていることについて知り、危機感を募らせる児童が多かった。</p> <p>3 課題解決的な学習〔自分達で考えた解決の方法をやる〕（14時間） 環境を守る取組について、本で調べた方法や環境課の方から教えていただいた方法を実際に家庭で取り組んでみることにした。すると、実際に取り組んだことや学んだことを地域の方に知らせたいという気持ちが高まり、学習発表会で情報発信することにした。活動を通して書き溜めてきたポートフォリオの中から、学んだことや活動の感想を抜き出して台本として、劇の形で地域の方に発表した（写真⑤）。ふるさとの海をみんなで守りましょうというメッセージを地域の方に伝えられて嬉しかったという感想をもつ児童が多かった。</p> <p>4 学習のまとめと振り返り〔1年間の学習を通して学んだことを振り返る〕（8時間） 環境についての活動を通してどんな学びがあったかをグループごとに話し合い、ポスターセッションの形でまとめた。学習発表会の発表を見て環境への意識が変わったかアンケートを取りグラフに表すなど、1年間のプロジェクトの評価の意味も含めた発表にすることができた。</p>	   	
海洋教育の目標にせまるための単元計画又は授業・活動づくりのポイント（工夫したこと）		
活動ごとに全体での振り返りの時間を取り、学習の方向性を児童が考えられるようにすることで、ふるさとの海の環境を自分達で守りたいという主体的な学習になった。また、地域の方と一緒に活動する時間を設定することで、地域の方々の海への思いを児童が直接感じられる場面が多く見られた。		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
1年間の活動を通して、ふるさとの海への愛着が増し、環境を守ろうという実践意欲が高まった。しかし、プラスチックに代わる素材の開発と普及にはたくさんのお金が必要なことなど、環境問題を考えていく時には、問題の背景となる社会的な知識なしでは深い学びとは成りえない。そのような知識をどのように学ばせていくかということが本実践の課題として残った。		
記載者氏名	大室俊一・竹崎詩織	

海 洋 教 育 実 施 概 要 8-4

学校名		浜田市立国府小学校
学年	教科等	単元名又は授業等名
4・5・6	クラブ	魚釣りを体験しよう
(○) 海に親しむ () 海を知る () 海を活かす () 海を守る		
単元又は授業等の めあて・目標		魚釣りを体験する
関係機関・団体等		アクアス
単元又は授業等の概要（時間数）		※写真があれば挿入する。
1. アクアスの方に釣りの仕方を教えてもらう		
		
2. 釣りを体験する		
 		
3. 釣った魚についてアクアスの方に教えてもらう		
		
海洋教育の目標にせまるための単元計画又は授業・活動づくりのポイント（工夫したこと）		
<ul style="list-style-type: none"> ・時間が限られていたため、釣りのしかけを簡単なものにした。 ・最後に、釣れた魚の説明を取り入れた。 		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
<ul style="list-style-type: none"> ・えさをつけたり、魚に触ったりすることに抵抗があった児童が多かったが、最後の方には、抵抗なく触れるようになった児童が増えた。 		
記載者氏名	藤澤伸治	

海洋教育推進事業

令和元年度国府小学校 海洋教育推進事業 実施報告 資料

4年生

＜ごみ拾いを呼びかけるポスター＞



＜ごみ拾いの様子＞

ふるさとの海でカピカピ大怪せん？

国府海岸ごみ拾い

国府小学校4年生

私たち国府小学校4年生は、総合的学習の時間にふるさとの海や川の問題について調べてきました。海や川の水をもっときれいにしていくために、国府海岸のごみ拾いをしようと考えました。地域のみなさん、それなら4年生といっしょにごみ拾いをしたいだけじゃないか？一緒にごみ拾いをしたい。だから下の案内をよく読んでご参加ください。

日にち 2019年 9月27日(金) 少雨から好い天気、大雨や波が高い場合は休日にちを改めます。必ず参加したい方からならぬ。雨には、国府小学校の備前(備前)の町民館(備前)の町民館でOKです。

集合場所 国府小学校の裏の海岸沿いの駐車場

日付 9:00 集合
9:00から9:10 はじめの会
9:10から10:00 ごみ拾い
10:00から10:10 おめりの会

持てくる物 軍手や靴はし
※ごみ袋は市販所で用意していただきます。

10:40～11:25に於、できたごみについてアケアスの方から市販所の埋め立ての方から教えていただく学習を国府小学校の各目的室で行います。興味のある方はご参加ください。参加を希望される方は国府公民館にお知らせください。

＜学習発表会の台本（一部分）＞

23	いいかげんことを言わないでくれ！
24	よく見てみる！ごみがいっぱい落ちているぞ！
25	あっ！本当だ！！【ペットボトルのお茶を飲みながら】
26	いったいだれがこんなことをしているんだろう！【ペットボトルのお茶を飲みながら】
27	どこかのだれか悪いことをしているんだ！【ペットボトルのお茶を飲みながら】
28	そうだ！そうだ！！
29	ほーっと生きてんじゃなー！
30	君たちが今飲んでるペットボトルの飲み物だって問題なんだよ！
31	ペットボトルはプラスチックでできています。
32	プラスチックは太陽の光に当たって、溶にもまれてボロボロになっていく。
33	だけど、水のごみとはちがって、やがて土にもどると言うことはない。
34	長い時間 海に浮かんでいて 海の生き物があやまって食べたり
35	体に巻き付けてしまったりしているんだよ。
36	国3場面
36	ごみを捨てるなんてひどいよ！
37	このごみは外国語が書いてあるよ！外国の人がごみを捨てているんじゃないかな？
38	さあ、ここでクイズです！
39	日本の海岸に落ちているごみのうち 一番多いのはどの国のごみでしょう？
40	はいはいはいはい！！
41	〇〇さん
42	韓国だと思いません。韓国の文字が書かれているごみを見たことがある！
43	ブブー！ おしい！ 韓国のごみは2割目で25%です。
44	はいはいはいはい！！
45	〇〇さん
46	中国だと思いません。この前 中国の文字が書かれているごみを見たよ。
47	ブブー！ ざんねん！！ 中国のごみは3割目で35%です。
48	えっ、まさか、日本ですか？
49	そう。一番多いのは日本のごみで45%もあるんだ。
50	えー！そんなに？
51	日本の海岸以外にも、ハワイ沖に太平洋のごみがたくさん漂っているところがあるんだよ。
52	そのごみでも一番多いのは日本からのものらしいよ！
53	えー！！！？

54	国4場面
54	どうしてそんなによく知っているの？
55	君たちだよね？！
56	ぼくたちか？ ぼくたちは3年生だよ！
57	ぼくたちは 2050年から卒った 国府小の4年生だよ！
58	えー！！ 本日にクイズ
59	教えて！ 2050年にはどんなことが起っているの？
60	海はタイヤがなくて、船に浮いている！
61	へー！！ (中くらいの声で)
62	リニアモーター鉄道線まで 浜田駅から東京駅まで50分だよ！
63	へー！！ (大きい声で)
64	白根は人口が増えて、今じゃ大都会だよ。
65	2050年のオリンピック、パラリンピックは白根だよ！
66	へー！！ (特大の声で)
67	でも、いいことばかりじゃないんだ。
68	なに？ どういうこと？
69	人々が健康を守る取り組みをしないために、今じゃ海が汚れて生き物はいないんだよ。
70	えー！？ あんなにたくさんいる生き物たちがいなくなったの？
71	大変だー！
72	教えてください！ どうしたら海が汚れて生き物たちを守れるの？
73	ペットボトルのお茶を これからずっと 飲まないようにしたらいいんじゃない？
74	いや、そういうことじゃない！
75	君たちががんばってほしいことは、「健康を保護することなんだ。
76	国5場面
76	ここから ぼくたち4年生の活動が始まりました。
77	まずは海岸のごみ拾いをするんだ！ プラスチックごみをいっぱい拾うんだ！
78	【ごみ拾いをする】【準備の行進をリニアモーター鉄道線】
78	おかしな音がいっぱい落ちている。
79	中身が入った缶ジュースもある！
80	ライターもあったよ。
81	あー、たくさん拾ったね。

海洋教育実施概要 9

学校名		浜田市立三階小学校
学年	教科等	単元名又は授業等名
5	社会	貿易について知ろう・考えよう
() 海に親しむ (○) 海を知る (○) 海を活かす () 海を守る		
単元又は授業等の めあて・目標		○我が国や浜田の貿易について知り、海を介して貿易がなされていることの認識を深める。
関係機関・団体等		財務省神戸税関 浜田税関支署
単元又は授業等の概要（時間数）		
<p>○我が国の貿易について知ろう（4）</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書の記載により我が国の輸出入の特色を知り、図書館の書籍を使ってさらに発展的に調べた。 <p>○浜田の貿易について知ろう（3）</p> <p>浜田税関支署監視官から次のような説明を受け、浜田の貿易について知識を深めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 浜田港・三隅港の輸出入製品や相手国 浜田港に入港する外国の貿易船 浜田港の貿易で使われるクレーン、コンテナ <p>授業の感想を書くことを通して、浜田の海や貿易港としての港の価値について考えた。</p>		
		
海洋教育の目標にせまるための単元計画又は授業・活動づくりのポイント（工夫したこと）		
○教科書を活用し、我が国の貿易について学習した後、浜田税関から監視官に来ていただき、地元、浜田港の貿易について、専門的な立場からの指導を受け、学習を深めた。		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
<p>○漁港としての浜田港は知っていても、貿易港としての浜田港は、ほとんどの児童の意識になかった。しかも、県内では、浜田港と三隅港だけが貿易港であることを知り、驚きを隠せない様子であった。そのような感想を書いている児童もいた。</p> <p>【児童の感想】私は今日のお二人の話聞くまで、浜田で貿易がされていることを知りませんでした。浜田港に来るのは漁船だと思っていたけど、クルーズ船、さらには大きなクレーンもあることにびっくりしました。</p> <p>○地元の税関から来校いただき、指導を受けたことは、浜田の海や浜田港に対する関心を高める意味で、大変意義深かった。</p> <p>【児童の感想】浜田税関支署の方は、わたしたちが安心してすごせるように働いておられて、とても大切な仕事だとわかりました。</p> <p>○税関は、多くの資料や伝えたい内容をもたれている。時間配分も含め、より綿密に授業の打ち合わせをし、来年度以降の実践につなげていきたい。</p>		
記載者氏名	田中貴己	

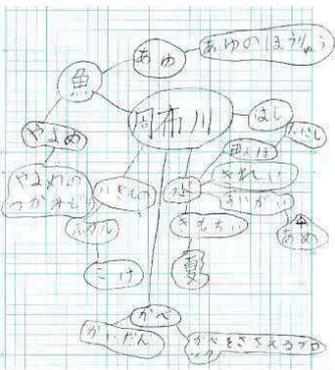
海 洋 教 育 実 施 概 要 10

学校名		浜田市立雲城小学校
学年	教科等	単元名又は授業等名
4	総合	金城の宝「ハッチョウチョウトンボ」を守ろう
() 海に親しむ () 海を知る () 海を活かす (○) 海を守る		
単元又は授業等の めあて・目標		金城の宝であるハッチョウチョウトンボの保全活動を通して、山を守ることが海洋を守ることにもつながることに気づくことができる。
関係機関・団体等		ハッチョウチョウトンボ妖精の守り人
単元又は授業等の概要（時間数）		
<p>「自然環境探検隊」（12時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のハッチョウチョウトンボ妖精の守り人のメンバーによる出張授業でハッチョウチョウトンボの生態や保全活動への取組について学んだ。 		
		
地元の方や生徒とともに 「わあ、小さくてかわいい」と歓声を上げる児童		
<ul style="list-style-type: none"> ・ハッチョウチョウトンボの生息地である学校近くのトンボ公園で、地元の金城中学校、浜田高等学校、島根県立大学の生徒とともにハッチョウチョウトンボの鑑賞会を行った。 ・ハッチョウチョウトンボを守る活動の一環として、資料をもとに調べ学習を行ったり、ポスターを制作したりした。 		
海洋教育の目標にせまるための単元計画又は授業・活動づくりのポイント（工夫したこと）		
事前活動としてアクアス職員の方による浜田川調査を行い、「山の環境を守ることが海の環境を守ることにつながる」ということを児童に伝え、意識を高めるようにした。		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
地元の宝であるハッチョウチョウトンボについて、興味・関心をもつ児童が増え、トンボ公園の清掃等、地域ボランティアに参加する姿が見られるようになった。		
記載者氏名	川神 幸	

海洋教育実施概要 11

学校名		浜田市立今福小学校
学年	教科等	単元名又は授業等名
5年	総合	浜田の魚を調理して食べてみよう
(○) 海に親しむ (○) 海を知る () 海を活かす () 海を守る		
単元又は授業等の めあて・目標		地元の魚を自分で調理し、食べる活動を通して、地元の水産業への興味・関心を高める。
関係機関・団体等		浜田市水産業振興協会、浜田市水産振興課
単元又は授業等の概要（時間数）		
<p>①社会科の授業で漁港を見学する。（4時間）</p> <p>②出前授業で浜田の水産業についての説明を聞く。（1時間）</p> <p>③児童一人一人が魚をさばく体験を含めた調理活動を行い、作った料理を味わう。家族にも呼びかけ、子どもたちとともに魚料理を体験してもらう。（4時間）</p> <p>【メニュー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんちっちアジのムニエル、野菜添え ・どんちっちアジ入りカレーライス 		
 		
 		
海洋教育の目標にせまるための単元計画又は授業・活動づくりのポイント（工夫したこと）		
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちがふるさとの海の恵みを感じることができるよう、どんちっちブランドのアジを使って自ら調理し、食べるという活動に取り組んだ。 ・子どもたちだけではなく家族にも参加してもらうことで、食を通して海への関心をさらに高めようと考えた。 ・魚料理を自分で作るという活動と浜田の水産業についての学習を組み合わせることで、学習への意欲を高めようと考えた。 		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
<p>魚をさばくという体験がはじめてという子どもが多かった。今回の体験を通して、「また魚をさばいてみたい」とか「魚の料理がおいしかったからまた作ってみたい」という思いを持った子どもが多く、魚料理への関心の高まりという点で成果があった。また、参加した保護者からも、家で魚料理を増やしてみますという感想も聞かれた。</p>		
記載者氏名	野田憲治	

海洋教育実施概要 12

学校名		浜田市立波佐小学校
学年	教科等	単元名又は授業等名
3. 4	総合的な学習の時間	周布川を調べよう
() 海に親しむ (○) 海を知る () 海を活かす () 海を守る		
単元又は授業等のめあて・目標		海の自然や資源、海を取りまく人や社会との深い関わりについて関心を持ち、進んで調べようとする児童を育成する。
関係機関・団体等		アクアス
単元又は授業等の概要（時間数）		
第3・4学年「周布川の生き物を調べよう。」（6h）		
1 ねらい		
(1) 自ら課題を見つけて主体的に取り組みよりよく課題を解決していく資質や能力を育てるために、周布川について知っていることを書くことができる。 (2) 川について知ることが海を知ることにつながると考え、波佐小学校近くを流れる周布川について関心を高め、川にいる生物について知る。 (3) 学び方や考え方を身に付け、主体的・創造的に取り組む中で、自分の生き方を考えることができるようにする。		
2 指導者 山口慶子さん他アクアス職員の計2名（島根県立しまね海洋館 魚類展示課学習交流課）		
3 参加児童 3・4年生 6名		
海洋教育の目標にせまるための単元計画又は授業・活動づくりのポイント（工夫したこと）		
1 ウェーブマップ作り		
	2 川の生き物調べ アクアスの職員2名の方に来ていただいた。水中にいる生き物の捕り方、生き物の潜む場所、生き物の扱い方、生き物の名前、種類等・子どもたちにとってよい学びになった。	
		
3 生き物の名前調べとまとめ		
捕った生き物の名前を調べたり指標生物表で確認したりした。どのような生き物が住んでいるか調べることによって、その地点の水質を調べることができた。きれいな川を保つことが、海の環境を守ることにつながることを意識することができた。		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
海に関わる学習の前段階として「周布川」を調べる活動を行った。波佐小のシンボルである周布川を好きになり、この川を守ろうとする意識を高めることに重点をおいた。このことが、ふるさと浜田の宝である「海」に対する愛情を深め、ふるさとを誇りに思う子どもたちを育てることにつながったと考える。 来年度は、海に関する施設（海洋館アクアス）を見学して川と海のつながりについてより深く学習をしていきたい。カヌー体験をしたい。		
記載者氏名	波佐小 川神 和子	

学校名		浜田市立旭小学校
学年	教科等	単元名又は授業等名
2	生活	「生きもの なかよし 大作せん（海の生き物をしろう）」
<input type="checkbox"/> 海に親しむ <input checked="" type="checkbox"/> 海を知る <input type="checkbox"/> 海を活かす <input type="checkbox"/> 海を守る		
単元又は授業等のめあて・目標		海にすむ生物に関心を持ち、生物の多様性に気付き、自分たちと同じように生命をもっていることに気付くとともに、生き物に親しむ気持ちを持つことができるようにする。
関係機関・団体等		しまね海洋館アクアス
単元又は授業等の概要（時間数）		
<p>「海にすむ生き物をしろう」</p> <p><u>海の生き物を図書館で調べよう（1時間）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ これまでの生活の中で知っている生き物の種類や、特徴について話し合う。 ○ 生き物の名前、特徴など、わからないものについては図書で調べる。 【国語との関連：上 P24～25 としょかんへ行こう】 ○ 生き物がすむ場所、採集できるものはその方法などについて話し合い、生き物を観察・採集しに行く計画を立てる。 <p><u>海の生き物に会いに行こう（1時間）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 水族館職員の方の説明を聞いたり質問したりして、海の生き物の種類や生態、飼育方法について学ぶ。 ○ 海の生き物と接する際に必要な衛生面や安全面について学ぶ。 【学校行事との関連：アクアスへ行こう】 		
海洋教育の目標にせまるための単元計画又は授業・活動づくりのポイント（工夫したこと）		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校が海から離れており、ふだんの生活の中で海を目にすることは少ないため、図書資料を多く用意することで興味を持たせ、学習への意欲を高めようとした。 ○ 児童の最初の関心は生き物の種類や特徴であるが、バックヤードの見学をし、職員の方々からの話を聞くことで、海の生き物を飼育することへも興味を持たせるようにした。 		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の海の生き物への関心を高めることができた。 ○ 海の生き物を飼育するための環境整備を進めたり、海で安全に活動できるような機会を設けたりして、海で採集した生き物を学校で飼育できるようにしていきたい。 		
記載者氏名	藤本 真里	



学校名		浜田市立旭小学校
学年	教科等	単元名又は授業等名
4	学級活動	「食べてみよう！地域でとれる食材や食品」
() 海に親しむ () 海を知る (○) 海を活かす () 海を守る		
単元又は授業等のめあて・目標	地域の産物に興味をもち、日常の食事と関連づけて考えることにより、郷土を身近に感じるとともに、食べ物、食事に感謝する心を育てる。	
関係機関・団体等	旭学校給食センター	
単元又は授業等の概要（時間数）		
<p><u>地域でとれる食材や食品について調べよう（15分）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 知育でとれる食材や食品を見つけて、ビンゴゲームをやってみよう。【食の学習ノート】 <p><u>給食に使われている地域でとれる食材や食品について話を聞こう（15分）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 浜田市でとれる食材や食品について、それぞれどのような特徴や調理方法があるか考える。 ○ 給食の献立の中にある浜田市でとれる食材や食品を見つける。 <p><u>学習で分かったことを話し合おう（15分）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域でとれた食材や食品を使って、家庭でできる料理を考える。 		
<p>4 学習で分かったこと、思ったこと、これからやってみることなどを書こう</p> <p>いろいろな食材が地元でとれているんだなあと思いきや、これからは、ことさらに見たい。地元でとれている食材を見たい。</p> <p>4 学習で分かったこと、思ったこと、これからやってみることなどを書こう</p> <p>ほとんどの給食で浜田の食品もいっぱい使っていることを知ることができてうれしかったです。浜田でとれる食品をいっぱい食べたいです。</p>		
海洋教育の目標にせまるための単元計画又は授業・活動づくりのポイント（工夫したこと）		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童が特に水産物に注目するように、給食センター（栄養教諭）と事前に内容を相談して、掲示物やエピソードを用意しておいた。 		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 浜田でとれる水産物や水産加工品について、児童の関心を高めることができた。 ○ 保護者へよびかけるなどし、児童が家庭でも浜田でとれる水産物やその加工食品を使って調理する機会を持てるようにしていきたい。 		
記載者氏名	植田 珠和	

学校名		浜田市立旭小学校
学年	教科等	単元名又は授業等名
5	社会	「水産業のさかんな地域」
() 海に親しむ () 海を知る (○) 海を活かす () 海を守る		
単元又は授業等のめあて・目標		我が国の水産業に関心を持ち、水産業が自然環境を生かして営まれ国民の食生活を支えていることや、水産物には外国から輸入しているものがあること、主な漁場の分布、水産業に従事している人々の工夫や努力、生産地と消費地を結ぶ輸送の働きを理解するとともに、国民生活を支える水産業の発展について考えようとする。
関係機関・団体等		
単元又は授業等の概要（時間数）		
<p><u>水産業について調べよう（1時間）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な水産物と水産物の必要性について話し合う。 ○ 日本の水産物消費量、主な漁港の水揚げ量、日本近海の地形や海流などの資料から学習問題をつくる。 		
<p><u>水産業のさかんな地域について調べよう（6時間）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 浜田市の水産業について調べよう。 リーフレットや浜田市のHPから、浜田市の水産業の様子について調べる。 ○ いろいろな漁業について調べよう <ul style="list-style-type: none"> ・沖合漁業 ・遠洋漁業 ・養殖 ・栽培漁業 ○ 漁港の様子と機能、水産物の輸送の工夫について調べよう 		
<p>海洋教育の目標にせまるための単元計画又は授業・活動づくりのポイント（工夫したこと）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 表、グラフ、写真、地図など最新の資料のほか、映像資料を用いたりし、水産業への関心を高めるようにした。 ○ 図書館に水産業に関する図書を整備し、調べ学習に取り組みやすくした。 ○ 全国的な水産業の様子だけでなく、地元浜田市の様子について取り上げることで、水産業を身近に感じられるようにした。 		
<p>児童に見られた変容、取組の成果や課題等</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の水産業への関心を高めることができた。 ○ 水産業に直接携わる人から話を聞いたり、水産物加工施設を見学したりする機会を設けるなどして、より関心を高めたい。 		
記載者氏名	梶谷 康和	

海洋教育実施概要 14

学校名		浜田市立弥栄小学校
学年	教科等	単元名又は授業等名
3・4	総合	環境守り隊
<input type="checkbox"/> 海に親しむ <input type="checkbox"/> 海を知る <input type="checkbox"/> 海を活かす <input checked="" type="checkbox"/> 海を守る		
単元又は授業等の めあて・目標		・地域の自然に触れ、自然環境を守るために自分たちでできることは何かを考える。
関係機関・団体等		・杵束公民館、安城公民館
単元又は授業等の概要（時間数）		
<p>○環境守り隊(全40時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のフィールドワークを通して、自然環境の状況を概観した。そこから見出した課題について、探求的な学習を進めていった。 ・地域での生き物（昆虫、水生生物、植物など）の観察を行い、その生き物と自然環境とのかかわりについて考えた。 ・自然環境や生き物についての図書を利用し、地域の環境について調べたり、環境問題について学んだりした。 ・学習を進める中で、「弥栄には豊かな自然がある」と言われていることを知り、それを実感するために、地域での川遊びをしたいと考えた。そこで、夏季休業中に公民館主催で行われる「川遊び体験」にみんなで参加することを計画し、実行した。 ・川遊びにより豊かな自然を感じながらも、身近な大人の話から以前は泳げる場所も多かったこと、もっと豊かな自然の中での遊びがあったことなどを知り、「弥栄の自然環境は昔より悪くなってきたのではないか」という疑問が生まれた。 ・疑問の解決のために、地域の大人へのアンケートなどを考え、実施した。 ・授業で学習してきたことやアンケートの結果をまとめ、学習発表会で全校児童、保護者や地域の方に発信した。 ・児童は、学習を通して、地域の豊かな自然に誇りを持つとともに、山から川、そして、海につながる自然環境を守ることが、重要であることを感じていた。 		
海洋教育の目標にせまるための単元計画又は授業・活動づくりのポイント（工夫したこと）		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の自然を調べる中で、それが、山から川、そして、海へとつながることを感じさせるために他教科の学習と関連させて、地域の川の流れを地図などで確認させた。 ・豊かな自然に誇りを持ち、守っていこうという気持ちを持たせるために、自然の中での楽しい体験活動を取り入れた。 		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
<ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然を取り上げたことにより、課題意識をもって、学習に取り組んでいた。 ・豊かな自然を感じるとともに、山から川、海につながる環境を守ることの大切さに気付くことができた。 ・学習の成果を学習発表会で地域に発信することができた。 		
記載者氏名	齋藤 由美子	



海洋教育実施概要 15

学校名		浜田市立三隅小学校
学年	教科等	単元名又は授業等名
5	総合的な学習	三隅の海を知ろう
<input checked="" type="checkbox"/> 海に親しむ <input type="checkbox"/> 海を知る <input type="checkbox"/> 海を活かす <input type="checkbox"/> 海を守る		
単元又は授業等の めあて・目標	ふるさとの海について学習し、地域の海の良さや素晴らしさを知るとともに、ふるさとの海を守るためにどのようにすればよいかを考える。	
関係機関・団体等	福浦漁港 漁業組合	
単元又は授業等の概要（時間数）		
<ul style="list-style-type: none"> ・三隅の海について調べよう（16時間） ・釣り体験（4時間） ・乗船体験（4時間） 乗船体験を計画していたが、当日は時化のため、残念ながら乗船体験は実施できなかった。 ・まとめ（5時間） 		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>		
<p>海洋教育の目標にせまるための単元計画又は授業・活動づくりのポイント（工夫したこと）</p> <p>地域の人材や自然を活用しながら、多くの人々と関わり、学習できるような単元構成になるよう計画した。</p>		
<p>児童に見られた変容、取組の成果や課題等</p>		
<p>地域の良さを再確認することができ、自分たちの住んでいる三隅の海についてより興味・関心を持つことができた。</p>		
記載者氏名	5年担任 湯浅光生	

海洋教育実施概要 16

学校名		浜田市立岡見小学校
学年	教科等	単元名又は授業等名
5・6	総合的な学習の時間	岡見の素晴らしさを海から見つめよう！
<input type="checkbox"/> 海に親しむ <input type="checkbox"/> 海を知る <input checked="" type="checkbox"/> 海を活かす <input type="checkbox"/> 海を守る		
単元又は授業等のめあて・目標		○ 岡見を海から見つめたり、地域の方に岡見の自然について話を聞いたりすることで、ふるさと岡見の素晴らしさに気づき、ふるさとを誇りに思う心を育てる。
関係機関・団体等		岡見地区自治振興会 岡見須津船頭会 JF しまね 西部県民センター
単元又は授業等の概要（時間数）		
<p>○事前（1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 岡見の自然について ・ 乗船の仕方・安全上の留意点の確認等 <p>○当日（2）</p> <p>出発→ 須津港着→ 乗船 → 須津港発 → 帰校</p> <p>10:30 10:50 11:00～11:40 11:50 12:10</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 乗船前に船頭会の方から乗船上の留意点を聞く ・ 乗船中は、地域の方から岡見の海に島や瀬について、また海上から見えるもの（鉄橋、火力発電所、景観等）の案内をいただく ・ 感想発表 <p>○事後（1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 活動のふり返り 		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
海洋教育の目標にせまるための単元計画又は授業・活動づくりのポイント（工夫したこと）		
<ul style="list-style-type: none"> ・ グループごとに乗船し、それぞれの船に地域講師についていただくようにしたこと。講師には・海のことや岡見について語っていただくようにした。 ・ 船（海上）でないと見えない（経験できない）ものを担当者と地域の方とで検討したこと 		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 岡見に住んでいながら海から自分たちの住む地域を見る経験がなかった。また、乗船経験のない児童もいた。それだけに岡見についての新たな発見や自然についての気づきが多くあった。 ・ 普段経験できないことを地域の方の努力で実現していただいた。お世話になった方に対する感謝の気持ちをもつことができた。 ・ 地元岡見の海に伝わる伝説や逸話などを聞き、ふるさとの昔について考え、地名の由来などについても知ることができた。 ・ 当初の予定は延期になったが、海の活動は天気予報では測れないものもあるので、天気がよさそうでも、波の高さは高いことがあるということを実体験をもとに知ることができた。 		
記載者氏名	河本 誠二	

海洋教育実施概要 17

幼稚園名		浜田市立美川幼稚園
学年	教科等	単元名又は授業等名
		マリンスポーツを楽しもう「カヌー体験」
(○) 海に親しむ () 海を知る () 海を活かす () 海を守る		
単元又は授業等の めあて・目標		カヌーに乗る楽しさを知ったり並みを感じたりする。
関係機関・団体等		三隅 B&G
単元又は授業等の概要（時間数）		
<p>○砂浜の清掃をする。</p> <p>○海で遊ぶ時の約束を知る。</p> <p>○準備体操をする。</p> <p>○カヌー体験をする。</p> <p>○海遊びをする。 (砂浜で穴を掘る。波打ち際で波遊びをする。砂浜で海藻や石を集めて遊ぶ。泳ぐ。)</p> <p>○体験後の振り返りをし、海遊びの楽しさを友達と共有する。</p>		
		
 		
海洋教育の目標にせまるための単元計画又は授業・活動づくりのポイント（工夫したこと）		
<ul style="list-style-type: none"> ・活動の初めに海岸清掃を行い、海を大切にする気持ちや親しむ気持ちをもたせる。 ・海に親しむための活動であるので楽しく活動するための約束を知らせる。 ・海に対しての経験差があるので一人一人に応じた援助をする。 ・天候や体調に配慮して柔軟な活動をする。 		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
<p>・海遊びの楽しさやカヌーに乗る楽しさを十分に感じ、進んでかかわることができるようになった。</p>		
記載者氏名	田中由美子	

「浜田の海洋教育」カリキュラム(小学校の単元例)

浜田市教育委員会

【目的】

浜田の海洋教育は、浜田の魅力である海をテーマとした学びを深めるとともに、海に注ぐ水の流れにも着目することによって、浜田市全域でふるさとの海、森林、そして河川に関わる様々な学習を行い、ふるさとに対する愛着を深め、ふるさとを誇りに思い、ふるさとのために何ができるかを考え、行動する子どもたちを育てます。

【内容例】 学年別 単元名 (教科等とのつながり)、関係機関・団体等、ふるさと郷育、はまだっ子共育との関連

	海(山・川)に親しむ	海(山・川)を知る	海(山・川)を活かす	海(山・川)を守る
目標	ふるさとの海(山・川)に親しみ、豊かな感受性や興味関心等を培い、それに進んで関わろうとする。	海(山・川)の自然や資源、それをとりまく人や社会との深い関わりやその歴史について関心を持ち、進んで調べようとする。	海(山・川)の資源活用、世界とつながる船舶輸送について理解し、それらを持続的に活かすことの大切さを理解しようとする。	海(山・川)の環境について調べる活動やその保全活動などの体験を通して、環境保全に主体的に関わろうとする。
1・2年	海辺を歩いてみよう(生) ◎海辺の生き物を見付けよう ・海辺探検(アクアスの支援)	海の生き物(国) ◎海の生き物の名前を調べよう ・アクアスに行こう	ふるさとの海の良さ(生) ◎海の行事や活動に参加しよう ・海の日、海のおまつり(郷育)	きれいな海を守ろう(生) ◎海辺のゴミを拾おう ・地域との協働活動(共育)
	森を歩いてみよう(生) ◎森の良さを感じよう ・森の中に何があるかな	森の生き物(国) ◎森の生き物の名前を調べよう ・図書館活用の調べる学習	ふるさとの山の良さ(生) ◎山の行事や活動に参加しよう ・山菜採り、ウォーク(郷育)	山の自然を守ろう(生) ◎植林活動に参加しよう ・地域との協働活動(共育)
	川辺で遊ぼう(生) ◎川辺を探検しよう ・水の流れ、水の中の様子	川の生き物(生) ◎川の生き物の名前を調べよう ・ザリガニ釣り、水中の生き物	ふるさとの川の良さ(生) ◎川の行事や活動に参加しよう ・川遊び、川下り(郷育)	きれいな川を守ろう(生) ◎川にゴミを捨てない ・地域との協働活動(共育)
	浜辺で遊ぼう(生) ◎浜辺の良さを感じよう ・砂の芸術・砂浜運動会	海の乗り物(国) ◎船について調べよう ・図書館活用の調べる学習	浜田の美味しい魚(生) ◎びーびー?どんちっち? ・魚屋さん、かまぼこ屋さん	海を守る気持ちを表そう(図) ◎海の絵を描こう ・アクアスの海
	海辺の探検に行こう(総) ◎海の生き物を育てよう ・海の生き物採取、釣り ◎海に関する施設を見学しよう ・海洋館アクアス訪問	海の生き物(総・国) ◎海の生き物について調べよう ・海の魚(アクアス) ・サケの放流(下府川を楽しむ会) ・海藻(浜田の海で生活する会)	各地とつながる浜田の海(総) ◎浜田の港がどこにつながっているか? ・出前授業(浜田港湾振興センター)	海の環境保全に取り組もう(総) ◎海の漂流物・ゴミはどこから来たのか調べよう(海岸清掃) ・海洋環境教室(浜田海上保安部)
3・4年	山の自然にふれよう(総) ◎山探検をしよう ・安全な山歩き	山や森の生き物(国) ◎森の生き物の名前を調べよう ・図書館活用の調べる学習	ふるさとの山の良さ(総) ◎山の行事や活動に参加しよう ・山菜採り、ウォーク(郷育)	山の自然を守ろう(総) ◎植林活動に参加しよう ・地域との協働活動(共育)
	水の流れを感じよう(総) ◎沢登り探検をしよう ◎川遊び、カヌー	川の生き物(総・国) ◎川の生き物の名前を調べよう ・出前授業(アクアス)	ふるさとの川の良さ(総) ◎川の行事や活動に参加しよう ・川遊び、川下り(郷育)	きれいな川を守ろう(総) ◎川の環境保全を考えよう(浜田市環境課)
	海洋活動を体験しよう(総) ◎船に乗ろう ・水産高校練習船、クルーズ船 ◎ロープの結び方 ・ロープワーク(海洋少年団)	海の仕事を体験しよう(総) ◎海にかかわる仕事 ・水産加工体験(水産高校) ・藻塩作り(浜田の海で生活する会)	ふるさとの海の良さ(生) ◎海の行事や活動に参加しよう ・海の日、海のお祭り(郷育) ◎命を守る海の安全(ライフセービングクラブ)	海を守る気持ちを表そう ◎海の絵を描こう(図) ・未来に残そう青い海(応募) ◎浜田の海をきれいにしよう(総) ・海岸清掃活動
5・6年	海の楽しさを体験をしよう(体) ◎マリンスポーツを楽しもう ・カヌー(三隅B&G) ・SUP(海で生活する会) ・カッター(水産高校) ◎海を楽しもう ・魚釣り教室、藻塩作り	海の自然、環境(理) ◎海の生き物について調べよう ・魚の生き物と環境(アクアス) ・魚の誕生、生態(浜田近海)(島根県水産技術センター) ◎大地のつくりを学ぼう ・豊ヶ浦見学(地域講師)	水産資源の有効活用(社)(総) ◎浜田の水産業を学ぼう ・浜田の漁業(JFしまね) ・ヒラメの養殖、放流(島根県水産振興協会) ・浜田の水産加工業(浜田水産加工業協同組合)	海の環境保全に取り組もう(総) ◎日本の水産業と海洋環境 ・図書館活用の調べる学習 ・海藻と環境との関係(島根県水産技術センター) ◎漂流ゴミ問題解決に向けて ・プラスチックごみ、海岸清掃
	山・川での体験活動(体)(総) ◎自然体験活動を楽しもう ・沢登り体験 ・スキー、そり、スケート体験 ・雪合戦	海で働く人々の生活(社) ◎海の仕事について調べよう ・漁船、魚市場、海産物 ・干物、缶詰、海料理 ・輸送船、港、海上保安部	ふるさとの食文化(食育) ・浜田の特色ある魚料理(食育推進団体) ・川の生き物 ・山の食材	山・川の豊かな水の流れ(総) ◎豊かな森林を守ろう ・地域との協働活動(共育) ◎きれいな河川を守ろう ・地域との協働活動(共育)
	海洋活動を体験しよう(総) ◎海洋少年団の活動 ・ロープワーク、手旗信号(浜田海洋少年団) ◎命を守る海の安全 ・救急法、ライフセービング(ライフセービングクラブ)	「みなと浜田」の歴史と文化(社) ◎「みなと浜田」の歴史と文化を調べよう[ふるさとの50人] ・北前船の歴史と恩恵(日本遺産) ・「みなと浜田」を調べる(浜田港湾振興センター)	世界とつながる浜田(社) ◎浜田の海運業を学ぼう ・浜田港の整備計画、推移 ・浜田の商港(浜田港湾振興センター) ・浜田の貿易(神戸税関浜田支署)	海を守る気持ちを表そう ◎海の絵を描こう(図) ・校内スケッチ会 ◎海の風を感じよう(体) ・海浜マラソン、ウォーク ◎海への感謝をこめて(音) ・海の歌

※(生):生活科 (国):国語 (社):社会 (理):理科 (音):音楽 (図):図画工作 (体):体育 (総):総合的な学習の時間
(食育):食に関する教育 (共育):はまだっ子共育・地域学校協働活動 (郷育):ふるさと郷育

令和元年度 浜田市立図書館全館の利用状況

令和元年度は、中央図書館と三隅図書館の開館から 6 年目を迎える年となりましたが、4 月と 5 月の図書館システムの更新による 5 日間の臨時休館と、2 月～3 月の新型コロナウイルスの感染拡大防止のための利用制限（学習コーナー・インターネット席の使用中止等）の影響もあり、来館者数及び貸出点数とも前年度を下回る実績となりました。

【利 用 実 績】

下段の（ ）の数值は平成 30 年度実績

項 目(単位)	中央	金城	旭	弥栄	三隅	合計
来館者数（人）	162,812 (173,658)	5,974 (5,235)	3,371 (3,241)	340 (491)	24,559 (25,068)	197,056 (207,693)
利用者数※（人）	72,124 (73,402)	3,013 (2,895)	2,437 (2,520)	340 (491)	7,116 (7,409)	85,030 (86,717)
個人貸出点数※（点）	249,099 (253,227)	9,756 (9,066)	6,981 (7,740)	1,096 (1,642)	27,740 (27,611)	294,672 (299,286)
利用団体数（件）	206 (194)	24 (21)	16 (15)	0 (0)	26 (38)	272 (268)
団体貸出冊数（冊）	8,424 (8,468)	739 (874)	1,582 (2,044)	0 (0)	990 (1,305)	11,735 (12,691)
予約・リクエスト 受付件数※（件）	8,361 (8,606)	399 (348)	395 (402)	24 (41)	278 (325)	9,457 (9,722)
レファレンス 受付件数※（件）	3,943 (3,825)	391 (318)	409 (365)	0 (0)	236 (252)	4,979 (4,760)
蔵書数※（冊）	195,491 (190,916)	21,327 (20,955)	20,483 (19,601)	4,498 (4,302)	38,208 (37,561)	280,007 (273,335)
開館日数（日）	325 (331)	297 (302)	297 (301)	296 (301)	296 (301)	—

注 1) 「※」の項目については、移動図書館車の実績を中央図書館にカウントしている。

(ア) 電子書籍の利用状況（括弧内は平成 30 年度実績）

電子書籍コンテンツ数・・・1,822 点（1,822 点）

電子書籍貸出点数・・・・・・ 142 点（194 点）

(イ) 市民一人当たりの貸出冊数（括弧内は平成 30 年度実績）

令和 2 年 3 月末浜田市人口・・・52,834 人（53,710 人）

令和 2 年度個人貸出冊数・・・294,672 冊（299,286 冊）

市民 1 人当たりの貸出冊数・・・・約 5.58 冊（約 5.57 冊）

（小数点第 3 位四捨五入）

浜田市立図書館の機器入替にかかる臨時休館期間の変更について

図書館システムの機器入替作業のため、浜田市立図書館の 5 館すべて（中央・金城・旭・弥栄・三隅）を 6 月に臨時休館とする予定でしたが、コロナウイルス感染拡大防止に伴う企業の在宅勤務等の対応により、更新作業に遅れが生ずる見込みです。

については、機器の更新時期を延期し、臨時休館期間を下記のとおり変更いたします。

昨年度の更新に伴う休館は、図書館システムの機能強化（バージョンアップ）によるものでしたが、今回の休館は、老朽化した端末機器（パソコン及び周辺機器等）の更新に伴うものです。

なお、移動図書館車「ラブック号」については、休館期間中も通常どおり運行します。

休館中における図書の返却は、各館（弥栄図書館を除く）の返却ポストへの返却となります。

記

1 臨時休館期間

変更前 : 6 月 1 日(月) ~ 6 月 12 日(金)

変更後 : 9 月 1 日(火) ~ 9 月 7 日(月)

2 周知方法

- ・ 図書館ホームページ
- ・ 広報はまだ
- ・ 図書館だより
- ・ 館内での掲示

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う 令和 2 年度芸術文化事業の延期・中止について

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点、事業実施に係る準備期間及び関係者の安全性の確保が困難であること等が原因により、次のとおり事業を延期し、又は中止することとしましたので報告します。

1 延期する事業

1	事業名	浜田市スクールコンサート	
	実施主体	浜田市教育研究会音楽部会	
	開催時期	(当初)	令和 2 年 6 月 9 日(火)～同月 12 日(金)
		(延期後)	令和 3 年度 6 月頃(予定)
2	事業名	石本正生誕 100 年記念展事業	
	実施主体	公益財団法人浜田市教育文化振興事業団 (浜田市立石正美術館)	
	開催時期	(当初)	令和 3 年 3 月 23 日(火)～6 月 20 日(日)
		(延期後)	令和 3 年度中(予定)
	備考	(1) 石本正生誕 100 年記念展事業補助金については、事業内容が展覧会で使用する図録等の制作費が大部分を占めることから今年度執行するものとする。 (2) 巡回展を行う島根県立美術館、一宮市三岸節子記念美術館及び浜松市秋野不矩美術館においても延期	

2 中止する事業

1	事業名	石本正日本画大賞展	
	実施主体	公益財団法人浜田市教育文化振興事業団 (浜田市立石正美術館)	
	開催時期	令和 2 年 8 月 25 日(火)～10 月 11 日(日)	
	備考	代替展として、過去の受賞作品展を開催予定	
2	事業名	第 52 回浜田市美術展一般公募展	
	実施主体	第 52 回浜田市美術展実行委員会	
	開催時期	令和 2 年 10 月 3 日(土)～同月 11 日(日)	
	備考	児童生徒書写展及び図画展は、開催予定	